

昭和二十四年三月十九日 昭和廿四年五月二十日印刷 (毎月廿五日發行)
第三種郵便物認可 昭和廿四年五月廿五日發行

第三〇輯・第五號・昭和二十四年五月

建築(社會)

5

日本建築協會

THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

會

告

實例による鐵筋コンクリート構造の解説と見學

日時 六月十四日(火) 后一時始三時半終了
會場 工業獎勵館 講演室 市内西區江ノ子島
見學 工業獎勵館三階建鐵筋コンクリート新築工事、講習後見學、五時解散
講師 株式會社大阪建築事務所 専務取締役 高橋慶夫氏
テキスト 圖面入約 30頁 一部100.00で頒つ
申込締切 六月十日迄テキスト希望者は代金前納の事、但會場の都合で先着締切の事がある。テキストは當日會場受付で渡す事

豫定 第二回 文化講座(七月頃) 第三回 仕上材料与施工法(九月頃)
第四回 鐵骨構造(十月頃) 詳細は次號以下本誌上で、決定次第發表する。

宇治平等院、黃蘗山、見學案内

標記見學會を京都支部と大阪會勢委員會共同で開催する、二ヶ所共余りにも世に有名であるから解説を略する。折柄の新緑は清澄の流れ宇治川に映じて都人の心を慰めるに充分であろう。尙當日黃蘗山見學終了後同寺にて有志の懇親晚餐會を催さんとす、若し夫れ待望の普茶料理を味ふ事を得ば更に興深かるべく参加希望者は下記要領により御申込ありたし。

- 1、日時 六月十二日(日) 午前十時集合晴雨不論
- 1、集會所 舊京阪宇治驛前(本線中書島乗替)
- 1、會費 ¥50、00 當日不參の時も御負擔の事
- 1、見學 平等院、黃蘗山萬福寺、東道解説者は目下交渉中
- 1、交通費 自辨、辨當持參の事
- 1、申込締切 六月十日迄會費を添へて申込の事
京都方面の方は京都支部へ申込せられたし
- 1、有志晚餐會 萬福寺にて見學終了後開催する 會費は當日實費を徴するが申込の時若干前受いたしたし、但當日不參の場合も負擔願ふ事

以上 日本建築協會

相互 斡 旋

◎ 土地、家屋譲りたし

1. 大阪市内堺筋長堀橋南(元高島屋前) 電車道約150坪
2. 大阪市西區江戸堀南通五丁目十番地ノ一 角地、河に面す、約232坪
3. 大阪市大正區三軒家町一一 土地715坪。建坪217坪
工場三棟、倉庫一棟、事務所一棟、宿直室一棟、倉庫一棟、住宅三棟、寄宿舍二棟、組建方野地仕舞迄。
4. 京都市左京區松ヶ崎西町一四番地 前高工跡突當り隣裏、公園豫定地で目下施設中
敷地52坪、平家建15坪 三室外台所、風呂、井戸、水道設備、昭和十七年建築入念仕上。
5. 京都市左京區松ヶ崎内海町本通り 宅地128坪 目下畑、六疊の小屋あり、手入れすれば居住可能。

◎ 土地買いたし

希望條件。京都市大學附近で鴨川べりの事、約1,000坪以上を要す、御心當りあらば斡旋願ひたし。

◎ 就職、希望

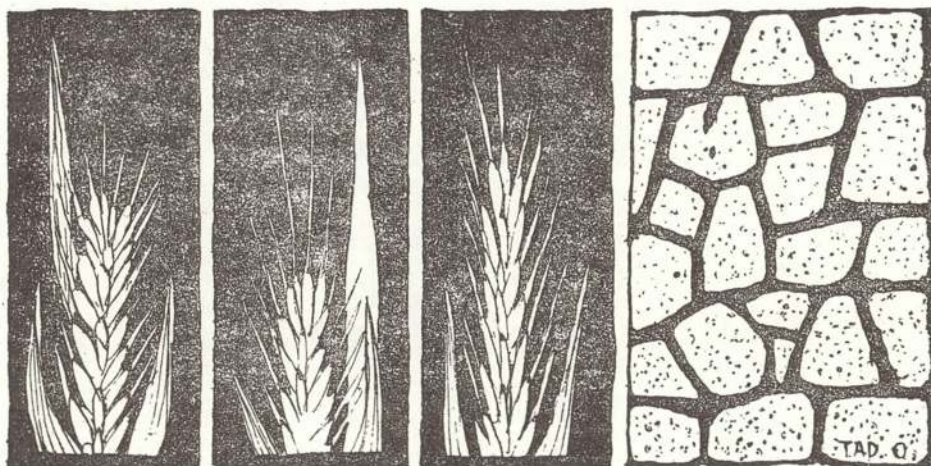
新卒業生、経験者等履歴書預りあり、御希望の方は御申越し願ひます。

◎ 求婚

女子、初婚二十五才。再婚死別三十三才子供なし、共に身体健全、容姿普通以上、身元確實者あり特に斡旋願ひたし。

以上御連絡は本會事務局長へ御申越の事 本欄を充分御利用願います。

社團法人 日本建築協會



建 築 と 社 會

5

1949・5

時の言葉

所謂經濟九原則と建築界…………… 2

新建築紹介

人絹文化協會…………… 3

組立式移動現場事務所について 川村統之…………… 6

工程表と進捗表の活用について 越智隆晴…………… 10

厚型スレートに就て(續)…………… 松井邦彦…………… 15

建築に附帯する設備座談會…………… 18

淺海治平 石河晃太郎

今西茂雄 今西安兵衛

河原 勇 城口 龜吉

須賀豊治郎 堤 耕作

中村政芳 河村 茂

栗原信虎 齋藤 光夫

伴 秀雄 森 忠一

守安寅治 山田 文次

大阪競輪場…………… 29

建築積算便覧…………… 33

俘虜生活の感傷(續)…………… 中野吉彌…………… 37

會務報告…………… 40

時の言葉 所謂經濟九原則と建築界

日本經濟の再建に關する一連の諸原則には、その相互の關係に、或る種の混亂と分裂との存在することを否定することが出来ない。その結果、今日まで、全体的な總合的意圖は曖昧にされ、個々の立場が制約と調整とを無視して強調せられ勝であつた。經濟復興と經濟民主化との相剋、國民的要請と勤勞の權利に關する思想との對立等は總てその一例に外ならない。

このような一般的社會狀勢を背景として、昨年の暮、所謂九原則が生れた。マ元帥は、日本政府に對するその指令のなかで、われわれ日本人に、自由な社會に與えられている自由と特權との一部の一時的放棄を求め、日本人全体のためにするこの政策の實施に、個々の立場からする反對や干渉は絶体に許されないことを明かにすると共に、今度こそは是が非でもやらせるという「押し」の太さを、はつきりとみせている。

斯くて、廿四年度本豫算は、所謂ドツヂの線で編成せられ、單一爲替レートは、案外圓安ではあつたが、豫想外に早く決定せられた。その後にくるものとしては、インフレから一時的デフレへの轉換、それによる安定恐慌の過程において、相當數の企業の倒産、從つて失業者の激増は免れ難いところであらう。そこであらゆる企業は必然的に、その合理化を要請せられる。建築界と雖も、決してその例外をなすものではない。なぜなら、一般的景氣變動に、特に敏感な建築業界が、復興を一時犠牲にしても、經濟的な安定を短期間に招來せんとするドツヂ氏の政策によつて萎縮するであらうことは、何等疑問の余地のないところであるからである。ここに業界も一大試鍊期に到達し、各業者共經營の合理化に専念せざるを得ないこととなつた。しかも、施工法における合理性と經濟性の發見と、その適切な實施、材料勞務の科學的管理、現場乃至は一般的管理費の合理的節減等業界における合理化の余地は頗る多いといわねばならない。

政府は、均衡豫算、經濟安定問題に追われ、ここ三ヶ月間というものは復興問題を棚上げしてしまつた。だが政府は、遠からず、再度復興計畫案の提示の必要に迫られるであらう。しかもその時期は、存外に早く來るのではないかと思う。そしてその頃から、私的外資導入の時代がはじまつて、經濟界もちよつと違つた様相をていしてくるものと思う。そこにわが業界の希望が生れる。道は頗る嚴しい。だが、この嚴しさの彼方には洋々たる活路のあることを銘記すべきであらう。

人 絹 文 化 協 會

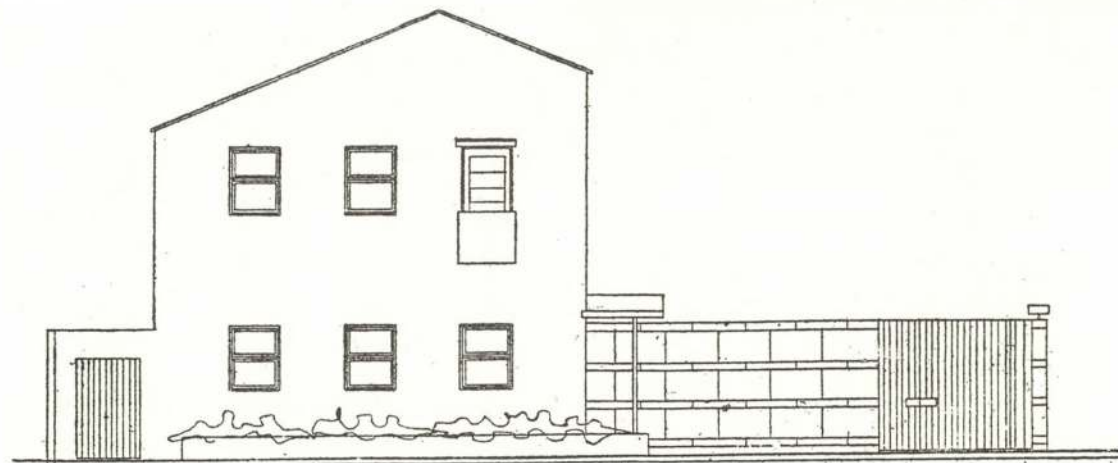
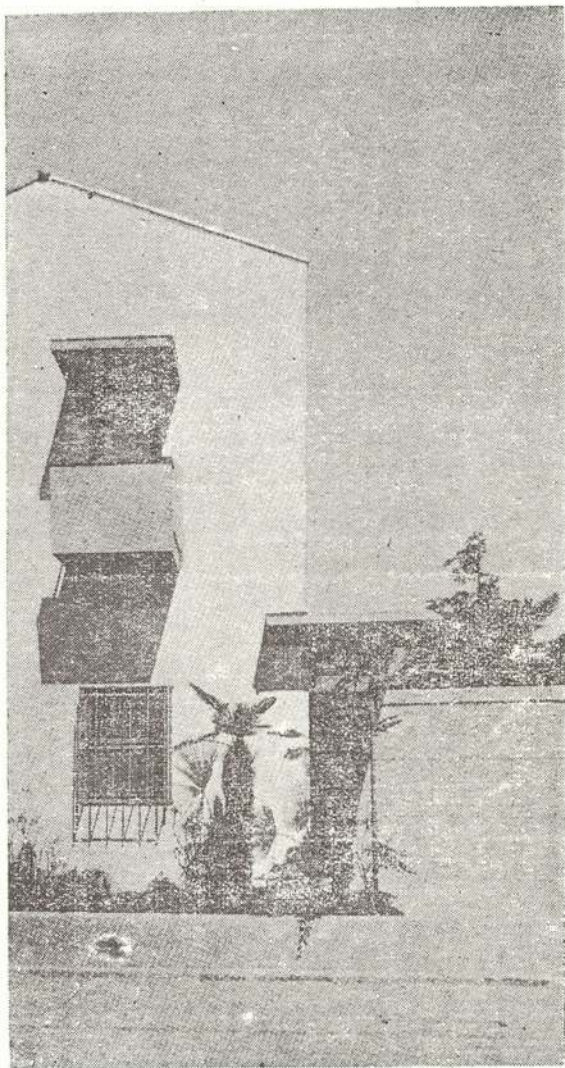
東西に細長い敷地。西側一方道路。南向き事務所と管理住宅とがこの課題でした。

第二期工事のガレーヂへの通路。ポーチの取扱い。

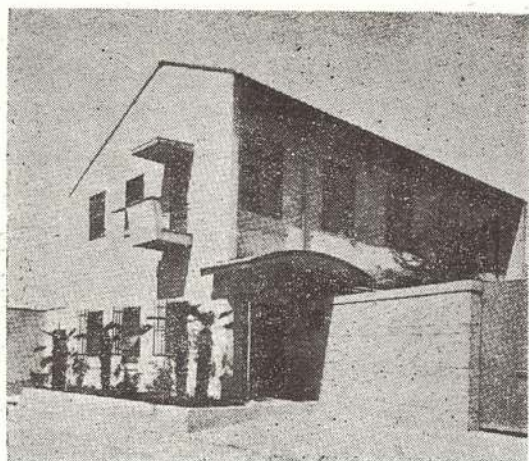
庭園と必然的に隔離される煉瓦壁のボリュームのバランス。事務所らしくない事務所と云つた所をこの解答として見ました。

二階會議室のデツキは木造建築に於ける單なる遊びであれば種々の疑問が含まれること認めざるを得ません。

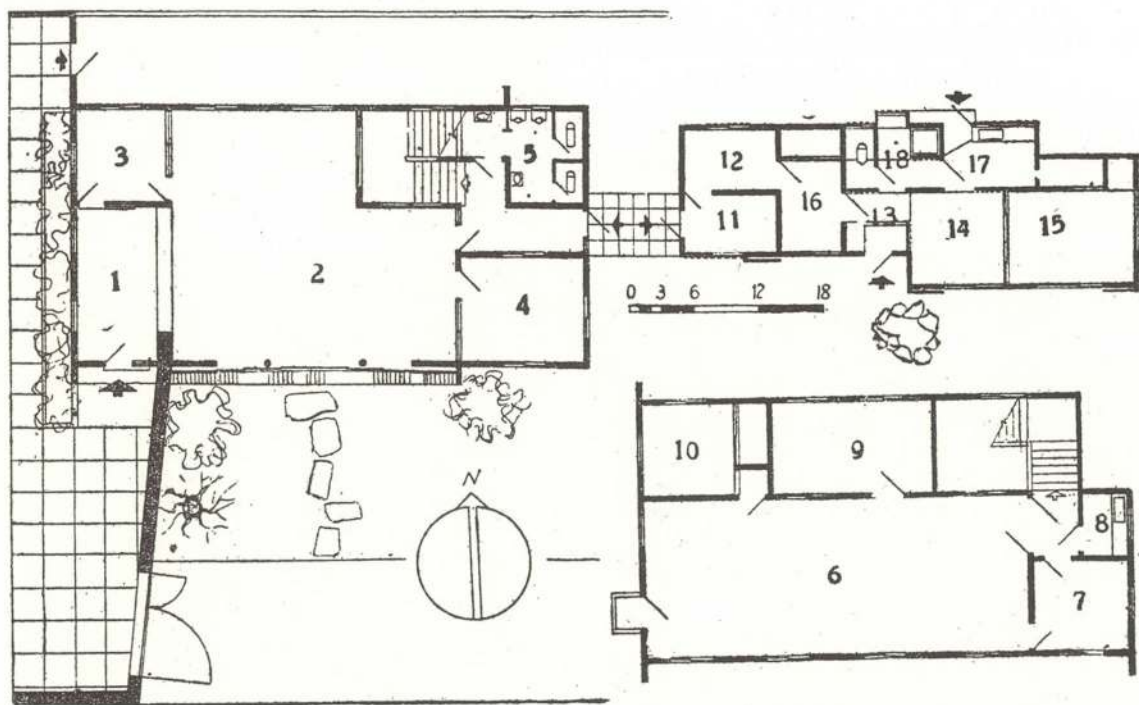
最近の現場として行届いた仕上は何より嬉しい事です。



西 側 立 面 圖



- | | | | |
|----|---|---|---|
| 1 | 客 | | 溜 |
| 2 | 事 | 務 | 室 |
| 3 | 應 | 接 | 室 |
| 4 | 理 | 事 | 室 |
| 5 | 便 | | 所 |
| 6 | 事 | 務 | 室 |
| 7 | 宿 | 直 | 室 |
| 8 | 湯 | | 沸 |
| 9 | 應 | 接 | 室 |
| 10 | 宿 | 泊 | 室 |
| 11 | 物 | | 置 |
| 12 | 納 | | 戶 |
| 13 | 玄 | | 關 |
| 14 | 四 | 帖 | 半 |
| 15 | 六 | | 帖 |
| 16 | 三 | | 帖 |
| 17 | 台 | | 所 |
| 18 | 浴 | | 室 |



一階平面圖

二階平面圖

人絹文化協會

所在地 大阪市東區南久太郎町2丁目24番

敷地面積 234.5坪

建築面積 事務所 1階 32.0坪

2階 22.9坪

住宅 15.0坪

延 69.9坪

外部仕上 外壁 色モルタル掻落シ
一部人造石洗出シ

屋根 日本瓦葺4寸勾配

主要室内部仕上 床 檜 フローリング

巾木 木製 ペンキ塗り

壁 モルタル粗面仕上

水性ペンキ塗り

天井 テツクス 水性ペ

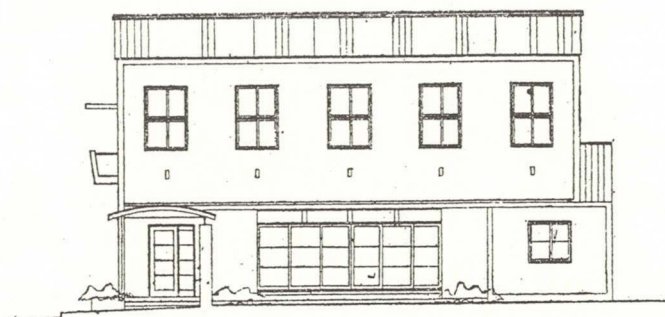
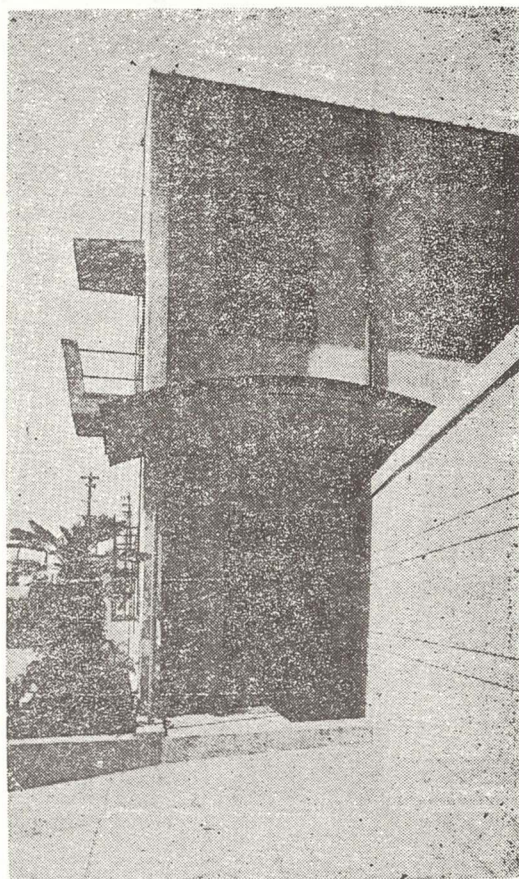
ンキ

設計施工 株式會社 竹中工務店

設計擔當 小川 正

佐藤 寛二

現場擔當 今村 茂一



南側立面圖

組立式移動現場事務所について

川 村 統 之

今まで新しい工事毎に現場事務所（箱番）を、設けてゐる様に見受けられます。これは新しい工事を請負ふと、『現場事務所ぐらゐは……』と言う考えで時折新しく建てる爲だと思ひます。

しかし、これを組立式に、運搬容易に、敷地現場の状況に應じて、融通性のある物を最初につつておけば、仮設工事費の節約になると思うのであります。そこで

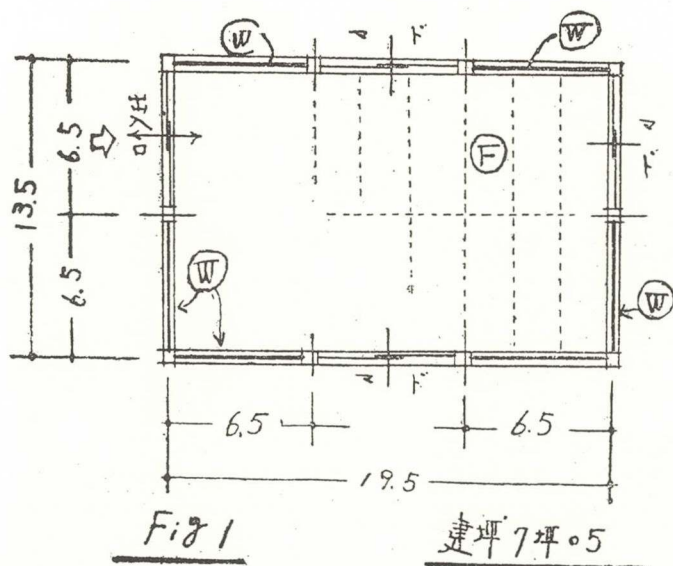
1. 組立分解の自由なること。
2. 丈夫にして運搬自由なること。
3. 建設場所の状況により、出入口、窓の自由に出来ること。
4. 構造簡易にして、パネルの種類を出来る限り少なくすること。
5. 材料を節約すること。且市場品を有効に使うこと。

6. 他の用途にも使用出来ること。（倉庫、住宅等に）

以上の目的に出来る限り添う様に作り實際に使用して見ますと便利で好成績を得ましたので、大して参考にもなりませんでしょうが、記載して見ようと思ひます。そして、尙より以上の改良を加えて下さつて、仮設工事費の節約に少しでも役立てば幸と存じます。

1. 平 面

平面は梁間2間とし、桁行は2間～3間位とする。1間ば6.5尺とし、疊寄を入れれば3.15×6.3尺の疊を入れられる如くする。柱は3寸角とす。



(W) 壁パネル (3.0×6.2尺)

(F) 床パネル (2.13×6.35尺)

又ハ (3.2×6.35尺)

但し床土間の場合は床パネル丸Fは不要とす。

2. 断面・構造

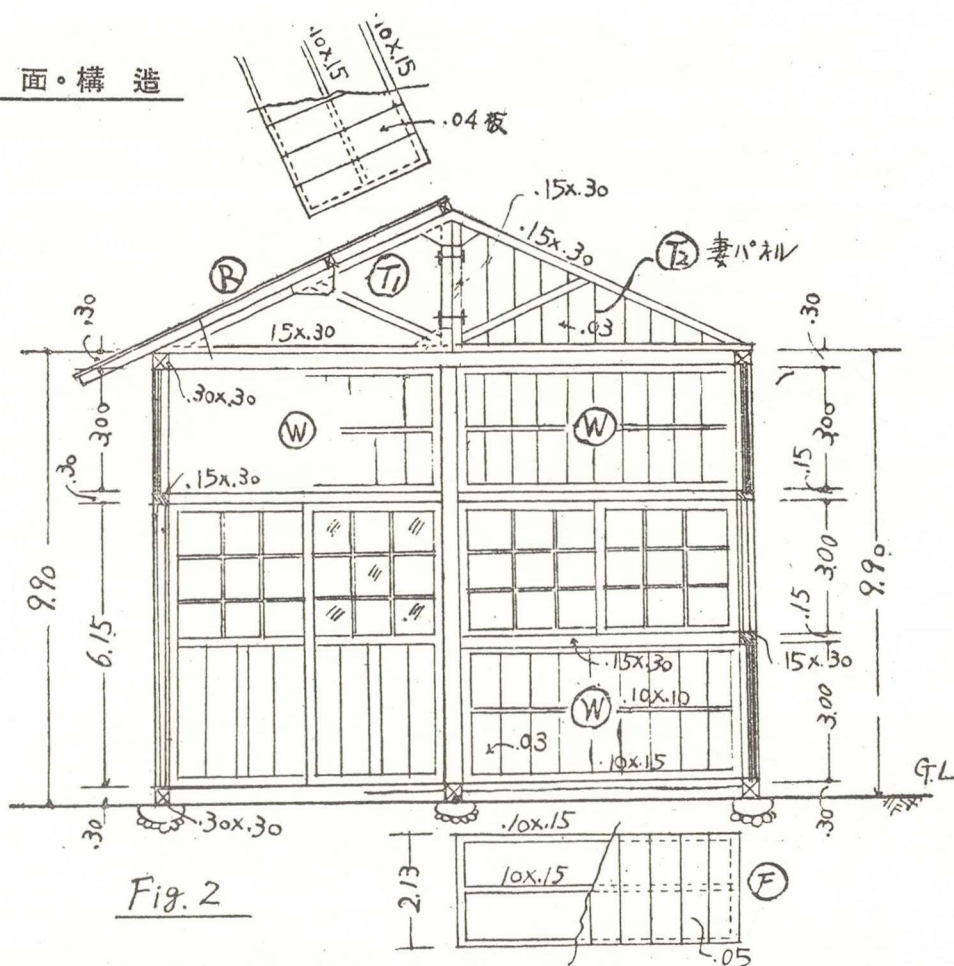


Fig. 2

部材寸法は總て、 30×30 15×30 10×15 10×10 とする。
板は、.03 .04 .05 厚とする。

△ 形トラスを2組ボルト締とする。

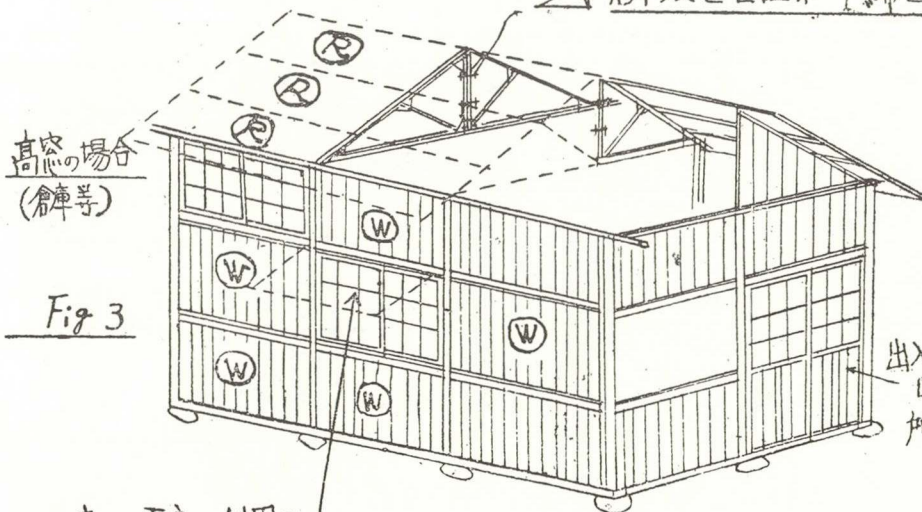


Fig. 3

屋根・雨戸 = 利用入。

床パネル丸Fは一部土間になし余りたるものはFig・4の如く寝台に利用したり、Fig・5の如く現場の補強金物、其他雑材の整理棚に利用します。風の入らぬ様パネルと、柱の取合せを良くする爲には、Fig・6の如く細部に迄加工をなせば、尙完

全なものになると思ひます。又現場の大きさによつて2間×8間を、2間×2間にも縮める事が出来るし、桁行を8間以上にも伸す事が出来ることは便利だと思ひます。



Fig. 4

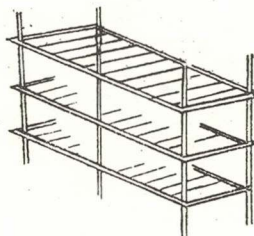


Fig. 5

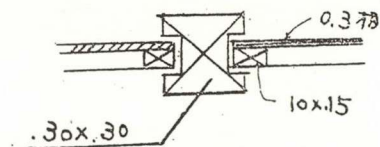


Fig. 6

3. パネルの種類 (Fig1参照)

記号	名 稱	形 状	数 量	板1枚寸	板厚寸	
①W	壁パネル		25	.10x.15 .10x.10	.03	
①R ₁	屋根パネル(妻)		12	.10x.15	.04	
①R ₂	" (中央)		6	"	"	
①T ₂	妻側パネル		4	.15x.30	.03	
①F	床 パネル		18x12	.10x.15xハ .15x.20	.05	

4. 骨組の種類 (Fig1参照)

記号	名 稱	形 状	数 量	部材寸	長さ	
D ₁	土 台	—	4	.30x.30	10.0	
D ₂	"	"	2	"	12.7	
C	柱	"	10	"	9.3	
N ₁	軒 桁	"	4	"	10.0	
N ₂	妻 桁	"	2	"	12.7	
S	胴 継	"	19	.15x.30	6.2	
	合 掌		4	"		

5. 建具の種類 (Fig1参照)

名 稱	形 状	寸 法	組 数	名 稱	形 状	寸 法	組 数
土入口腰高硝子戸(引違ヒ・レール付)		高6.15 x 中4.20	1組	窓硝子戸(引違ヒ・レール)		高3.00 x 中6.20	3組
金網戸障	16ヶ	鉄レール(6R)	2本	竹レール(6R)	6本	差込鉤	4組

硝子は棧を多くなし1尺角の硝子とし、破損の場合に経済的に考える。

6. 木材の石数 (Fig.1参照)

種別	名稱	寸法	數量	單位	單石	小計	計
軸部	土台	10.0x.30x.30	4	本	0.090	0.310	2.666 石 2.666
	"	13.2x "	2	"	0.119	0.238	
	柱	10.0x "	10	"	0.090	0.900	
	軒桁	10.0x "	4	"	0.090	0.360	
	妻桁	13.2x "	2	"	0.119	0.238	
	胴差	6.6x.15x.30	19	丁	0.030	0.570	
トラス (㊦)	合掌・真東	10.0x "	1	"	0.045	0.045	0.100x4組 石 0.400
	陸梁・方枚	" x "	1	"	0.045	0.045	
	継手・浦枚	厚.06~07	1	式		0.010	
トラス (㊦)	骨組	(㊦)ト同ジ	1	式		0.100	0.136x4組 0.544
	側板	6.6x厚.03	0.3	坪	0.119	0.036	
壁ハオル (㊦)	側板	6.6x.10x.15	3	丁	0.010	0.030	0.103x25組 石 2.575
	中板	" x.10x.10	1	"	0.007	0.007	
	板	6.6x.03厚.	0.55	坪	0.119	0.066	
屋根 (㊦)	板	10.0x.10x.15	3	丁	0.015	0.045	0.150x12組 1.800
	板	6.6x厚.04	0.66	坪	0.159	0.105	
同 (㊦)	板	6.6x.10x.15	4	丁	0.010	0.040	0.133x6組 0.798
	板	6.6x厚.04	0.58	坪	0.159	0.093	
雑材	羽風板	10.0x.08x.40	4	枚	0.024	0.096	0.168
	棟押へ	" x 0.5x.35	4	"	0.018	0.072	
床 (㊦)	板	6.6x.15x.20	4	丁	0.020	0.080	0.189x12組 2.269
	板	" x 厚.05	0.55	坪	0.198	0.109	
	其他補足材ヲ見ルムモノス。						
合計	床ハル使用の場合			石	11.220	建坪当り	石 1.59
	床土間ノ場合			石	8.951	建坪当り	石 1.27

7. 屋根葺材

屋根葺材はルーフィング張り木摺押へ又は杉皮葺、柿板葺の輕量にして、直ちに解体出來得るものを葺きます。

屋根坪はFig.1の平面にて約10面坪なり。(6坪巻ルーフィング約1.8巻とす)

(筆者・本多建設工業株式會社技師)

工程表と進捗表の活用について

越 智 隆 晴

工期の短縮を圖ることを目的とし、技術・勞力・方法を擧げて之を活用し、その能力を最大限に發揮させるための現場業務管理方式については、建築現場の生産増強施策の一環として、既に各方面で研究されているところである。

工事計畫管理・工事管理・作業法管理・勞務管理等一連の科學的な事業管理に關する資料について、今茲で一々述べる時間的余裕を持たないので、現場業務の指導推進に關する一般的のことは次に掲げる現場査察表に止めて細部の説明を省略し、今回は、工程管理を主とし、その中で工程表工事進捗表の改善と之が活用法について、筆者が會て使用していたものゝうち、集團住宅の建設現場の場合に例をとつて述べることにする。

1) 現場査察表について (第1表・第2表参照)

この表は現場業務管理全般に亘つて指導推進のためのものであるが、同時に現場従業者もこの表によつて自己査察が行へるであらう。

2) 工程表について (第3表参照)

この表の狙いは、現場従業者が常に自主性をもつて、勞務資材の計畫配置をなし、進捗を計畫と合致させるために直接役立たせようとするにある。

工程表の右半の部分は一般に見られる形式であるが、この部分のみであると、とかく筆先の細工がきいて、改變が無計畫に行はれ易い所から、世間では之を余り重視せられない傾があるようである。そして工事に關係のない繪のように煤ぼけて事務所の一隅に掲げられている風景はよく見受けられるところである。

一般に工程表は着工に先立つて、諸種の事情を

勘案して作製せられるが、本表の左半部に見られるように、作業期間 (工程表の右半から) と 總工量 (内譯書から) が決つて仕舞へば、次に 一日平均所要欄 に 作業量 と 作業員數 を記入する。尤も工量と員數は着工時、竣功時と中間工程とではその間に差異のあることは認めるが、基準量が決ればその間の判斷はし易いことになる。

已むを得ない事情のために計畫を變更する場合も常にこの表の左右を調整して、その基礎の上に新たな工程表が確立されるわけである。かくて計畫と實施が常に一致するように工程管理を行うのである。

實施の件はない工程表を『繪』に描いて、後日督促を受けて又確信のない『繪』に描き直すという行方は揚棄さるべきである。

(集團住宅の場合、出來高欄は戸數單位になつてゐるが、單一工事の場合の單位は % で表はされる)

3) 工事進捗表について (第4表参照)

本表は大別して資材關係と勞務關係 (輸送を含む) に別たれる。

資材關係については、總所要量 と 搬入すべき量 と 搬入された量 の欄が設けられ、勞務關係も同様に 要員數 と 實働員數 等の欄を設けてある。計畫に屬する分は工程表と内譯書から導き出されるし、實施に屬する面は、実績を記入するので、之を計畫と對照することによつて一目して現在の進捗狀況が誰にも立所に判るようになつてゐる。この表の効果は、

第1 計畫と實施とのズレがあつた場合に直ちに判ること、従つてその對策を樹てる時期を逸し

ないで済むこと。

第2、現場従業者間の進捗上の打合せがスムーズに行へる。

第3、中間支拂の査定にも重要な資料となる。
等である。

筆者は長年に亘つて建設の事務に携つて、何とか、言葉の上で督促するのを止めて、圖表によつ

て自動的に之を行ひ得る方法はないものかと考え抜いた結果、次のような表を作製して之を使用したのであるが、工事を順調に且つ圓滿に遂行する上に大いに役立つた。

以上、簡単な説明で要を盡していないが、讀者諸賢に於かれても、更に良い案で實施されていることゝ思う。御高教を賜はれば幸甚。

第一 表 (第一面)

昭和 年 月 日 査 察

現場査察報告	図地番号名称	着工昭和 年 月 日	請負者	指導課 現場主任者
	所 在	竣工昭和 年 月 日		
	型式戸数	工期 日割		
現場査察員氏名	同行者氏名	残存工事日数	請負者又は代理人 署名 日割	現場係員署名 日割

住宅配置図 (各戸進捗状況 仮設工事概況 敷地内寄附建物 搬入道路 水道 ガス 電灯 電力線等記入)

敷地案内図

凡 例

交通機関	道路	水道	ガス	電灯線	電力線	仮設建物
工事進捗表示記号	居住可能	空地完了	基礎完了	屋根骨組み完了	柱作完了	壁完了

配置圖 案内圖、記入欄

- 1) 本査察は目標を工期の短縮に置き建設の技術・勞力・方法一切を擧げて之を活用しその能率を最大限に發揮させるを目途とし、別記査察指導内容により現場に於ての諸般の管理並に運営方法の實際を知り之を綜合的觀點より合理化し、その建設能率の増進、勞働力の維持培養を圖るため現場に於て隔意のない懇談をとげ、以て協調の實を擧げ、阻碍條件の具體的打開に資するものである。
- 2) 本査察は現場業務進行の妨げを顧慮し、概ね一句二回實施の程度とする。
- 3) 本報告には要すれば工程表寫・工事進捗旬報寫及仕様書等を添附のこと。
- 4) 現場に於ては本様式を現場管理に利用すること。 (註)現場査察指導内容は第二面(裏面)に記載す。

第 二 表 (第二面)

(註) 表紙は第一面にあり

現 場 査 察 指 導 内 容			
	項 目	特 記 す べ き 事 項 (特記ハ口左欄項目番号ニ記シ)	左ニ 對 ス 3 指 導 方 策 (全 五)
工事計画管理	1 現場係員ノ編成 2 関係図面ノ精査 3 工程表 4 敷地、建物工事進行順序 5 仮設工事ノ決定 6 資材搬入計画、(便ハ休別) 7 勞務配分計画、(便ハ休別) 8 期限内竣功ノ能否見込及理由。		
工事管理	1 現場會議 2 契約條項履行、指示ノ徹底。 3 工程表ニ進捗ノ関係 4 現場資材関係。 5 現場勞力関係。 6 工事方法ノ検討。 7 工事変更ノ要否及理由。 8 檢査、(品質、数量) 9 檢査、(品質、取扱、施工) 10 施工機械、(突働車) 11 現場ノ整理。		
事務管理	12 諸手續 (官公署ニ関係) 13 日誌、報告。 14 諸索運賃。		
作業法管理	1 準備及仮設工事。 2 土工事、構設木工事 3 木工事、仕上木工事 4 基礎工事 5 土留工事 6 金具工事 7 建具工事 8 塗裝工事 9 雜工事 10 設備工事 11 附帯工事 12 工事改良工事		
勞務管理 (現場於ニ)	1 勞務者ノ選汰 2 作業及休憩時間。 3 賃金形態。 4 福利厚生。 5 教育訓練 6 附属宿舍施設。		
安全管理	1 安全委員ノ選定 2 教育訓練。 3 災害対策。		

第 三 表

昭和 年 月 日

工 程 表		圖地番名稱		着工昭和 年 月 日		請員者	担当者 課長 現場主任					
		所 在		竣工昭和 年 月 日								
		型式と数		工期 日数								
工 種	作業期間 (日数)	総工量	一日平均所要		月		月		月		月	
			作業量	作業員数	5 10 15 20 25	5 10 15 20 25	5 10 15 20 25	5 10 15 20 25				
準備工	撤入											
	整理計門金 取込後用道志											
土工事	撤入											
	整地、掘削											
	基礎掘											
	土管伏											
木工	下項壁掘											
	撤入											
	柱組											
	小屋組											
瓦工	平組											
	建荷											
	撤入											
	内装											
漆工	内装											
	天井											
	壁											
	内装											
屋根工事	外装											
	撤入											
	土居											
	屋根											
左官工事	撤入											
	壁下地											
	荒塗付											
	内装壁柱土											
金属工事	外装壁柱土											
	撤取付											
瓦具工事	撤入											
	外装建込											
	撤入											
	内装建込											
塗装工事	撤入											
	撤取											
雜工事	台所設備											
	便所設備											
	便所設備											
電灯工事	配線											
	器具取付											
給水工事	(井戸)											
	門埋場											
附帯工事	空地、掘入											
	植樹											
敷設工事	配線											
	空地、掘入											
	植樹											
	空地、掘入											
其他	敷設工事											
	敷設工事											
	敷設工事											
	敷設工事											

第 四 表

昭和 年 月 日

工事進捗旬報		圖地番号名称		着工昭和 年 月 日		請負者	担当係、現場主任名		
		所 在		竣工昭和 年 月 日					
		型式戸数		工 期		日 間			
出 来 高 間 係 (戸数単位)		現 場 資 材 間 係 (戸数単位)		現 場 勞 力 間 係					
工 種 土工事 木工事 屋根工事 左官工事 金具工事 建具工事 塗装工事 雜工事 配線工事 給水工事 附帯工事 敷設工事 其他(電灯戸数)		資材名 セメント 王 瓦 煉 瓦 土 管 丁 頂起 骨 組材 釘 鋸 雜 作材 托 及 釘 土 層等 屋 根等 瓦 延付 内 部壁仕上 外 部壁仕上 壁 取付 外 窓建込 内 部建込 土 層等 合 所設備 便 所設備 配 線 器具取付 (井戸) 門 垣等 電 地内排水 植 樹 地 割 整 地 側 溝 建築申請関係 電気外線関係 竣工検査 手道完了		搬入荷量 (戸分) 土 工 大 工 人 夫 大 工 人 夫 土 層等工 屋 根工 瓦 工 金 具工 小 工 建具工 鋸子工 塗 装工 漆 工 大 工 電 工		職 名 協定要員数 實働員数 出 勤 率			

本月中、重要記事
 1) 敷地改良工事関係
 2) 資材 関係

3) 輸 送 関係
 4) 労 務 員 粗 分
 5) 請 負 者 員 粗 分

4) 勞務要員関係
 5) 福利厚生関係
 6) 其 他

厚型スレートに就て (續)

松 井 邦 彦

4章 外観及び試験

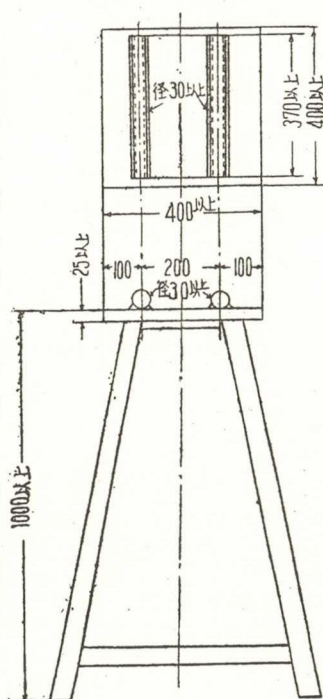
7條 厚型スレートには甚だしい反り、龜裂及び有害なヒズミ又はキズのない事を必要とする。

8條 曲げ試験 試験片は氣乾状態とし、平瓦全形のまゝを用ひ4圖に示すような試験台の上に試験片を鋼製支持棒に密着せしめ、スパンの中央に支持棒に平行させて直径30mm長さ約600mmの鋼製パイプをのせ、その

両端に平均に荷重する。荷重の大きさが100kgに達しても破壊しないことを要する、荷重中にはパイプ、ローラー、ワイヤーおよび箱等の重量を合算する。

(註) 検査員の承認をうけた場合はこの條に規定する試験機によらず、他の適當な試験機により試験することが出来る。

9條 吸水試験 試験片は全形のまゝを用ひ、これを空氣乾燥器内に入れてその温度を約110℃に保ち、一定重量になる迄乾燥した後の重量を乾燥時の重量とする。つぎにこれを水中に没し24時間経過した後取り出し手早く各面を拭き取り直ちに秤量したときの重量を吸水時の重



量とし、つぎの式によつて吸水率を算定した結果が10%以下なることを要する。

$$\frac{\text{吸水時の重量} - \text{乾燥時の重量}}{\text{乾燥時の重量}} \times 100 = \text{吸水率}(\%)$$

10條 8條及び9條の試験は厚型スレート2000枚またはその端数を一組として、各組より各試験片毎に3箇の試験片を抜き取り行ふ。この場合2箇以上合格したときはこの組を合格とし、3箇とも不合格のときはその組を不合格とする、また2箇が合格しないときはその組から更らに2箇の試験片を抜き取り再試験を行ふことが出来る。この場合其の中の1箇でも合格しないときはその組は不合格とする。

11條 試験は注文者又は指定した検査員の指定又は承認があつたときは、その一部または全部を省略することが出来る。

○厚型スレートは建築物の直接表面に露出するものであるから、7條の外観は最も必要な條件で又輸送中の破損、荷上後の雨もり等にも關係する。即ち2條~4條の規定が忠實に行われていくかいけないかといふことになる。

試験方法は色々の方法があるが、8條に規定する方法は合理的試験方法中最も簡単な方法であつて、どこでも簡単にできる。

荷重100kgは用途方面に於ても安全率を保持するものであり、又2章に示す調合と成型方法によれば當然期待できる數値である。

現市販品について本條に示す方法によつて試験した結果は、概ね100kgを突破した成績を得ている。

吸水試験については110℃内外で一定重量になる迄の期間は約72時間内外で、浸水して充分

吸水するまでの時間は約12時間内外である。
数値10%は充分の数値であるが大体8%以内の場合が多い。

11條の試料の取り方に付ては約50坪分を一組として単位を定めてある。

屋根材料として此の外に透水試験、耐寒試験及び衝撃試験等も必要に感ずるが、特殊の場合を除き此の規定で充分である。

本規定の附則として330mm×330mm 42枚盤も此の規格に準ずることになつてゐるから、36枚盤製品寸法1尺2寸角のものと42枚盤1尺角の二種が原型スレートの規格を適用されることになる。

以上本規格の忠實なる實施により再建日本の建設に建築の保全を完ふし、湿度の多い我國の季候に適した衛生的で而も住み良い住宅、明朗なる建造物が完成せられるものであるから一般の御協力を望む次第である。

4 厚型スレートの價格

厚型スレートの價格は現在公定價格により定められているが、製品の耐久力より比較すれば他の屋根材料中最も廉價である。

㊦による材料値段

1 坪 36枚盤	工場渡値段	販賣業者値段
平 瓦 1枚に付	21.00	23.10
棟 瓦 //	40.09	44.10
軒先瓦 //	31.50	34.65
重箱瓦 //	41.92	46.11
ケラバ瓦 //	31.50	34.65
巴 瓦 //	41.92	46.11
以下省略		

上記値段に對し荷造費の實費又同一府縣内の持込破損ロスとして10%、他府縣は15%の加算額に運賃の實費を加算することになつて居るから

製造工場より直接同一府縣内持込販賣の場合、
工場渡値段+10%+荷造費+運賃となる。

今㊦を基準として切妻の小住宅屋根の葺上値段を算出すれば下記のような見積豫算となる。

普通切妻小住宅(2戸建屋根面坪28坪)

平瓦	36枚×㊦21.00	756.00
役瓦	大体平瓦の13%×差額÷屋根面坪 (所用数131枚)×(10.50)÷(28坪)	49.10
葺手間	瓦揚費用を含む	70.00
持込加算額	同一府縣内とし破損ロスとして10%を加算する	80.51
釘代	1枚2本坪80本(14當1½"釘)	6.00
運賃を含まない1坪の直段		961.61

之に運賃を加算するのであるが、現在の陸送運賃トラック4廻積で10軒が平均スレート1枚に200圓位となるから、1坪40枚になる。鐵道輸送其の他小運搬を要する場合は荷造費を要し、更に運賃も嵩むわけであるから運賃としての豫算が増加するが、大体京阪神附近では貨物自動車其他で直送する場合が多いから、荷造りは殆んど必要とせない。棟瓦は上記小住宅の場合長さ1320mmとなるから40枚を要する、棟伏工事は大体1間が¥275.00であるから、6.666間×275.00=1833圓15となる。

棟伏工事は業者の習慣として別に計算することになつて居るが、之を屋根面坪に割當する場合、
1833.15÷28=65.47となり、運賃を除いた見積額
961.61+運賃80.00+棟伏65.47を加算した1107.08が葺上値段となる。

上記は簡単な住宅の例を示した葺上値段の算定基準であるが、屋根の形狀の複雑したもの或は寄せ棟、谷等の切付を要する場合、輸送の難易等に依り見積豫算に変更を加へる必要がある。而し乍ら大体に於てこの見積基準は大きい變化はないのであるから品質、製造元の信用等と對照して完全なものを需めることが肝要である。

着色品に付いては現㊦では50%以内の加算額を認められているが、着色原料は非常に騰貴しているので未だ大量に製作されていない。葺上後變色したり色素が完全に使用されていない製品もあるから充分注意して使用する必要がある。

5 厚型スレート施工上の注意

厚型スレートの野地は12mm以上の厚さを有する松、杉、又は縦板を用ひ凹凸のない様に平坦に張り上げる、野地板が薄かつたり隙があつたりすると、釘の通らないところが出来てスレートの配列が悪くなつたり雨もりの原因となることがある。

周囲の軒先瓦、ケラバ瓦等は完全に釘打する必要があるが、平瓦はお互に喰ひ合ふ様になつてゐるから風で飛んだりズル心配は絶対にない。野地が出来たら軒先に瓦棧1"~1½"のものを打ち付け下葺を施工する。

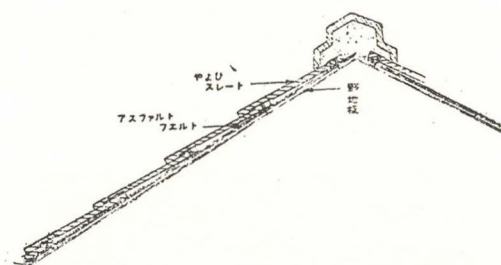
下葺としては柿板葺、フェルト張り、ルーフィング張等が行われているが、アスファルトフェルト張りが最も多く用ひられている。

厚型スレートは正味縦横1尺の働きであるが、屋根面の大きさにより幾分余分を見て割付ける、瓦割が端数になり半分に切断したスレートを要す

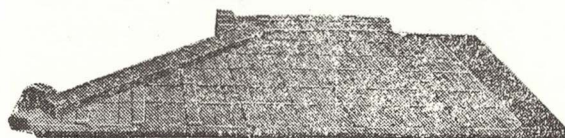
る場合は釘穴がなくなつたり葺上りが見悪かつたり将来故障の原因にもなり勝だから、割付けで加減して端数のものを使用せない様に工夫する。又野地板でも少しの注意によりこの害は免れる。軒先、ケラバ等はスレートを野地板より2"~3"出すのが通例であり之も瓦割の都合で幾分加減出来る。葺始めは先づ左ケラバより取付け釘は1½"のものを1枚に2本以上を使用し縦横の線を通り良く葺上る。

棟瓦の取付には始め空隙にセメントモルタルを鎮充し、釘又は銅線で固着安定するのであるが針金のみで止めても良い。

厚型スレートは瓦の表面に数條の溝があり、これが合理的に雨仕舞をして排水される様に考案されているから如何なる豪雨にも漏水することがない、従つて緩勾配の屋根でも安全性が多い。又暴風、地震に對しても安定である。火災の多い我國では屋根だけでも厚型スレートの様な耐火性のものを密集地域に使用するのが焦眉の急である。

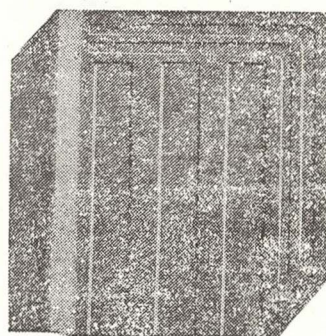


葺方の一例



厚型やよひスレート平面圖

釘穴



釘穴

厚サ……四分五厘

重量……八百五十匁 内外

寸法……一尺一寸八分×一尺二寸

働き寸法……一尺平方

重ネ……一寸八分

(筆者・大阪スレート工業會副會長)

建築に附帶する諸設備座談會

司會者 森 忠 一氏 (村野建築事務所設計技師)
補 助 今 西 茂 雄氏 (株式會社あめりか屋設計技師)

淺 海 治 平氏 (淺海電氣産業株式會社社長)
河 原 勇氏 (工藤電氣株式會社技師)
栗 原 信 虎氏 (栗原工業株式會社社長)
中 村 政 芳氏 (近畿電氣工事株式會社常務取締役)
石 河 晃 太 郎氏 (朝日設備工業株式會社取締役支店長)
今 西 安 兵 衛氏 (株式會社今西商會社長)
河 村 茂氏 (朝日管工業株式會社社長)

齋 藤 光 夫氏 (株式會社三晃商會社長)
城 口 龜 吉氏 (株式會社大阪城口研究所社長)
須 賀 豊 治 郎氏 (須賀工業株式會社社長)
堤 耕 作氏 (株式會社桐田商會社長)
伴 秀 雄氏 (株式會社西原衛生工業所社長)
守 安 寅 治氏 (三機工業株式會社大阪支店長代理)
山 田 文 次氏 (山田工業株式會社社長)

場 所……………朝日ビル内本會事務所

司會者 本日は皆様御多忙のところ御出席下さいまして有難うございます。實は建築協會の編集委員會の方で、建築設備の夫々専門の方々からの實際的な御意見を誌上を通じ讀者に御傳へしたいのです。一体設備の事は昔から建築の附帶工事と言つておりましたが、戦後他の總てのものと同じ様に附帶したものが獨立するという事が一般の傾向でして、特に進駐軍が來ましてからは設備工事の重要性というものに就いて、實施される方は勿論一般の人々までも認識が深まりましたことは當然の事ではありますが、誠に結構なことと思ひますでは最初に皆様からおききたいのは、進駐軍工事ではどういふような附帶設備を現にやつて來られたかという事についてであります。

(電 氣 の 部)

電氣の方から申しますと、部隊又は住宅に對しどういふ風に電氣を使つているか、特に日本の我々のやつていところと違つた点について、今迄進駐軍關係の電氣施設について豊富な御經驗のある淺海さん、栗原さんあたりからどうぞ。

栗原 私は進駐軍の住宅工事をやりまして第一に感じたことは從來の日本の和風の建築なら大体ノツプ仕事、碍子引きの工事をやつておつてスイッチのところくらいパイプにするのが常識ですが、進駐軍では全然そういう事を認めない様で全部パイプで鐵管の中でやつてれという要求が非常に多いのです。初めそういう工事をやつておつた所を濱寺なんか後から全部パイプに改修をしました。從來もコンクリート建のものは全部パイプでやつておりますけれ共、それを木造の建物でもそういう風にする。

それから非常に電氣の冷蔵庫とか電熱の、何と言ひますか電熱を扱って厨房を電化してしまふ。從來日本人がやつておつた様な小さい二キロ、三キロ位なものでなく、とても大掛りに非常に贅澤に電氣を使うて厨房を電化するという事です。私らも驚かされたくらいです。それから一つの家庭に大体30キロ位の變壓機を上げるし、大きな家はそれ以上の變壓機で電氣を供給しないと屋内の厨房に間に合わぬくらい、電氣の容量を非常に贅澤

に使うという事を感じました。

それからもう一つ、電熱を非常に和風の建物に拘らず、畳の上で唐紙の部屋でも非常に澤山とつて、裸でおつても寒くない位で驚かされました。それが爲いろいろ電熱による、電気による火災でなく電熱による火災というもの非常に多い、現によくあるという事ですが、電気による火災は起りません。電気の熱になつたものが唐紙に移つたりして火事になるのです。

住宅に對して私共感じた事は、電気を澤山使つて便利にやるもんだなという位な感じです。日本人の様に床の間に綺麗にする、床柱に金を入れたりするより、寧ろそういう電熱やその他の設備に先づ金を入れる様な傾向があるという事です。

司會者 何か電気の容量を澤山使う話を承りましたが、節約する爲の工夫とかそういう事について何か向うの方から注文とかいうものはありますか？ 例えば電気を不要の時に消して置くという様な。私はフランスで見たんですが必要な時丈つけて置く様に、夜の十時以後は廊下で一番初めに入口で押すとガラガラと音がして三分間程ついているが、そこを歩くと突當の邊でそれが消える時分又スイッチがあつて又そこでもとる、階段を上つてゆくと又押すと次がついて前のものは二分以内に消えてゆく、廊下で立話を十分、二十分するとスイッチを二分に一邊位い押す、十分間に五回押さなければならぬという風な非常に儉約する様な物を使つておりましたが、アメリカなんかそういう必要はないかも知れませんが。

須賀 私は電気屋ではありませんが、電気節約に一寸似た様なものをルール・スターン・ウエステイングハウスの仕事を見ました。熱源がストーヴの上にあつて、それがグツと下に降りる、鍋が中に降りる、非常に電気が得だと言つておりました。熱の節約から來たのでせう。ストーヴの熱源は太いニクロム線の小指程のやつがあつて、鍋がその穴の大きさにすつと降り込む様になつていて鍋の蓋と同じレベルになるのですが、アメリカ本國ではこういう風に節約しておるんですね。

栗原 アメリカの機具は難しいですね。

中村 私が取付けを頼まれた110Voltに自動装置が色々あつて、熱もオープンに熱が起り切ると勝手に電気が切れる、日本の電圧が90度か95度で困っていました。

(管 工 事 の 部)

司會者 次に進駐軍の管工事に特にお氣付の点暖房とか冷房とか換氣、衛生、そういった方面についてごなにか一つお願いします。

堤 私が極く最近見て來たんですが、吳から一寸三田尻の方に廻つて來ました處、メンテナンスが壊れて一寸した仕事をやつておりますが、現場で見ると暖房工事です、全然素人がやつているんですね。我々の様な長くやつている本當の管工事業屋がやつたらあんな物は作れない。初めから駄目だと思います。それで何年も暮して來たんですからね。向うは日本の技術が悪いというのはやらせた方が悪いので、日本の管工事業屋なら技術があれ

營業 日本浪型スレート・大平板
品目 日本厚型スレート・小平板

製造販賣 並ニ 工事請負

日本スレート株式会社大阪工場

東京 本 社 東京都中央区銀座七丁目三番地
電話 銀座 (57) 三二九七 五二九六番
東京 工 場 東京都北区豊島七丁目一六番地
電話 王子 (81) 三二五一 番
仙臺 營業所 仙臺市中田町恵土一番地
電話 中田 一五 番

大阪

營業所 大阪市西淀川区千船東二丁目二三番地
電話 淀川 (47) 0888・1869・1908番
西工場 大阪市西淀川区佃町二丁目一五四番地
電話 淀川 (47) 1081・1082番

程低下したものではないと熱々感じました。滅茶苦茶でやつた所もよく解つておりますが、全然これなら管工事屋ではない、鐵工場見たいな者が大きな工事をやつて納めておる、それを直しておりますが、あゝという物で日本の管工事業がアメリカより非常に悪いなんかと思われましますから非常に困るのじやないかと、ほんの最近感じた事です。

山田 私もそう思います。進駐軍がやらしてやる程度なら向うが進んでおると思いません。寧ろ向うが原始的というか、そういう事に關心を持つて無いというか、變つた事もない。只温まればよい、通りさえすればよいという様に思われますね。只感心する處は期限を喧ましくいう事丈でせうね。(笑聲)

つけつ放しですよ。暖房でもいようがいまいが、又ボイラーなんかも、壓力が上らうがやりつ放しという處があるんじゃないですかね。ですからラジエーターなんか壊す事が酷い、バルブなんか足で蹴つたり腰かけたり無茶苦茶しているんですよ。アメリカ本國では非常に進んでいるが、此方え來てる連中ではもう一つ感心しませんね。

齋藤 日本の管工事屋の技術で、手先でやる事はアメリカとさほど劣らぬとは言えるが終戦後は特にそうですが、機具の面では悪かつたですね。終戦後には仕事をするというよりも、先ず信頼出来る機具を探すという方が重要な問題で逐次よくなつておりますが、我々管工事業者として反省しなければならぬ事、又考えなければならぬ事は機具を改善するという事で、戦争前にはアメリカの物がドンドン入つて來ると、それに刺戟されてある程度までいゝ機具が出來ておつたが、戦争で非常に技術が低下したのと、何でも間に合いさへすればよいという事でやつた關係上、唯今非常に粗雑なものが出る。メンテナンスの工事も殆ど機具が悪いという事が、仕事が悪いという事よりも多かつた様です。

須賀 日本政府の方針もそうであつたらしい。終戦の年、九月中旬土建屋、管工事屋さんが外務

省から呼ばれて受入体勢をどうするか、實は建築という事は考えておつたから家を建てる硝子、左官、家具その程度は考えていたけれども、管工事という事は全然考えておらなかつた。こういう大きな問題があるので實は困つてゐるんです。

それと重工方面の工場が急速に轉換されて、給水栓とか――。

齋藤 格好丈作つたのが大分あつた。

須賀 この罪が大いにある。政府が管工方面のメーカーを育成すればよかつたんだが。

齋藤 そういう暇がなかつたんでしょう。

堤 昨日こういう事を聞いたんですが、本當かどうかわらんが、アメリカ人は非常に給水に鹽素を使います。それが爲にガス管が腐つて誘導工事の方でも非常に多く使つて、ピツチングスとパイプとまるで見えなくなる程詰つている。こういう事は余程考えて貰わねと、あゝ鹽素を使われたら給水工事は困るんだからということを職工から聞きました。

齋藤 あれですね。アメリカであれ程鹽素を使つたらトラブルが起るだろうが、要するに日本の水を信用しないから、アメリカの野戦の鹽素量をブチ込んでゐる譯ですね。

伴 逆も鹽素を入れる事は喧ましかつた様ですね。進駐軍の方に公衆衛生の部門があるが、給水道の消毒とか、鹽素を入れる事をとても喧ましく申しまして、是以上入れなければならぬ。それぞれの残留鹽素がなければ大變なお目玉を頂戴する、自然残留鹽素が多いから唯今の鐵管を腐蝕させたりするんですね。

司會者 結局向うの生活よりも、野戦の軍隊式の規則通りにやつてる事が多分にあるんでせうね

伴 私は設計の面ですが、進駐軍の建物の計畫では、例の排水を合流式にしております。それで東京方面の代々木とかなんかはその合流式でもつて處理槽を作つて淨化處理しています。處が大阪の方は合流に作れば老大なものになる。便所排水、厨房排水その他の排水を皆集めて處理すると

いう事は、アメリカとしては當然の計畫ですが、唯今濱寺の様な處では合流したのを全部處理すれば老大な物になるので、従前やつておつた様に便所と厨房排水を別個にと言う建前にしました刀根山も合流にした筈ですが、大阪方面で合流にした所は恐らく無いと思います。

是は今迄は淨化裝置で便所排水だけ處理するという建前でやつたんですが、それを唯今お話する合流にする様な計畫になつたのを、分流に直さねばならぬという事になつたのです。ですから日本も早く合流式に、ごこの分も處理出来る様な状態にならなければならぬと思います。大阪の中央部は皆その儘放流されるんですから合流式でゆくのですが、單獨に合流式をやろうとすれば、老大な物を作らなければならぬのです。その点確にあるんじゃないかと思います。

司會者 郊外の進駐軍の住宅は一戸一戸について淨化裝置があるのですか？

伴 纏めてやつておるんです。あるブロックブロックに淨化槽をやりましたが、只大阪方面の便所排水だけについて淨化裝置を作りました。處が東京の代々木などは全部合流式にして、厨房も便所も纏めて非常に大規模な處理槽を作つてやつております。それですとあちらから計畫した設計その儘ゆく譯です。濱寺のは合流式に直して處理槽を作つております。

(暖房・冷房の部)

司會者 暖房は全部電氣でやつているのですか？

？、住宅なんかの場合ですね、電氣でなくて直接または關接の暖房をやつておられるのですか？

守安さんあたりなんか？

守安 暖房は住宅に限り相當部分電氣暖房をやつておるが、事務所とか向うの將校のホテルとか一般の者の入る劇場とか、そういうものは直接暖房又は間接暖房をやつております。暖房の話が出ましたが向うでは、本で讀んだんですが、人間の住む所にはどんな所でも暖房をしてなければならぬという意見らしい。随分立派な暖房が出來ている様ですが、内地へ來た進駐軍もその点は徹底的に強調して、恐らく進駐軍の家族が住んでいる所で暖房だけは無いところはないと思います。最近になつて色々進駐軍から折衝があつて、まだ少し許りやつてない所があるということを開きまして調べたら、モータープールの様なところに若干兵がある。そこにやつてないからそこをこれからやれというのですから、大体人の居る所には必ず暖房はやつてあるという状態です。

冷房裝置の話は出ない様ですが、冷房の事で氣の付いた事を申しますと、進駐軍が最初に來た時やはり冷房に對しても相當進んでいるらしく、自分等の居る所は全部冷房もやるんだという話だつた様ですが部屋の点、納期の点、日本の資材、人員という様な事から、逆も出來ないという事が解つて、どういふ風な順序にやつてゆこうかという事が問題になつたが、落付くところは結局アメリカのデモクラシーというのでせうか、我々が考えれば、例えば大阪なら新大阪ホテルの様なゼネラ

各種粘土瓦工事
各種セメント瓦工事
各種スレート工事
土居葺工事

責任施工

大 佛 組

本店 京都市東山區大佛今熊野池田町
電話 祇園 ⑨ 1543・3555
出張所 神戸市灘區大石南町3丁目26

營業部 員退社

もと營業部員西堂和夫儀本年四月三十日限り當組退社致しましたので今後當組との關係は一切ありません。又大佛建材株式會社なる名稱を以て營業して居るとの風評ですが之又當大佛組とは何等の關係もありません事を御諒承願ひます

ルなんかの様な處からやられると思うと全然反對で、まず一番人の入っている、一般の人が恩恵をうける様な處をやる。眞先に北野劇場が出来上つた。その次が百貨店に目をつける、大阪のPXも冷凍機を持込んでやる許りになつたが中止になり神戸のPXは完遂しております。

その次に今度は事務所の様なものが完成されます。ホテルはあと、工事はやる事はやつたが使わずに終つております（去年は少し使つたかも知れませんが）。そういう風で冷房、暖房は人の居る處には全部やるものという事に決定している譯です

司會者 暖房について伊丹の龍大な所に、赫々たる御成績を挙げられた城口さんの大規模な暖房の御体験の話をお願いします。

城口 伊丹のセントラルヒーターですが、一ヶ所で兵舎、劇場、PX全部をやっているんです。初めはランカシヤボイラーかなんか使う筈でしたが、これを計畫した處がマリノボイラーを使えというので、急に變えてあれで可成大きな兵舎全部をやつてをります。

只先程お話を承つた様に扱いが非常に悪いので例えばバルブなんか勝手にやる、熱なんか我々が行つても堪えられない様な熱をやらなければならぬ、入れば殆ど裸でいる、この寒いのにシャツ一枚位でやつていられるんですから、可なりなヒーティング、熱を造らなければなりません。で廣い間ですから工事中かなり苦勞しましたが、幸い全部廻つておりますが、扱いが悪いのでボイラーマンも非常に苦しんでいる様です。晝夜にかねばならんですから、そんな様な状態であります。幸いにして大變喜びまして、完全にいつてる様であります。關西ではあゝいう風に一ヶ所に纏めていられる様な大工事をやつたのは、あそこが一番大きいのではないかと考えております。

司會者 建築面積はどのくらいですか？

城口 どのくらいになりますか、飛行場も入っているから。

司會者 距離からいつて中央から末端までどの

くらい。一番長いところは？

城口 十町はありますね。

司會者 最近協會の方で、日本の都市でビルもやはりセントラルヒーターをやつたらどうかという事を聞いた事がありますが、何かそういう事について、最近そういう風な話があるのでしょうか？

城口 現在伊丹の基地位の程度で一ヶ所でやれるという事になれば、都市なんかのセントラルヒーターは簡単ではないかと考えます。今、守安さんのお話の様にどんな小さい兵舎でも必ず暖房をやつて貰わないと承知しない譯ですから、そういう物を應用したセントラルヒーティングにするという事は、將來益々發達するのではないかと考えます。出来ない事はないと思います。

中村 大体日本のこの邊の建物であれば隙間が多い。従つて部屋の温度を上げるという事は大變難しい事になります。洋館ならば戸締りもピッタリ出来るし、風の締りもよく出来るから温度を上げる事は出来ますが、日本建のものならどこからか風が入つて部屋の温度を上げる事はなかなか。

齋藤 暖房なんかやつている者の立場から言えば、一番初めに話が出たが、建築の裝飾的方面に金をかけるよりは寧ろ暖房というか、熱効率、そういう方面に考えを致されて設計され、施工されるならば大變結構ではないかと思ひます。是は澤山の建物が暖房をやればよく解る事ですが、同じ構造の建物でも非常に設計は親切に出来ているが設計の通りに計算しても、先程お話の様に窓の隙間というものがある爲に、どうも温度が上らないという事がありまして燃料が非常に不足している現在からいつても、建物の裝飾的方面よりは寧ろ構造的方面、壁を厚くするとか壁の中にエヤースペースを設けるとかいう様な方面に向つて注意して頂けば、日本はさほど温度が低くないんですから、一方に大きな熱を逃がして乏しい石炭をどんどんたいて温めるといふ事はどうかと思ひます。

（これからの日本の家）

司會者 齋藤さんのおつしやるところも御尤で建築設計は確に同感です。と言うのは私共が各地で生活して來た所と比較検討すると、日本が一番寒い國だという感じがするというのは、何が寒いと言えば外氣でなく、室内氣候というか、在來の日本の建物では室内氣候が一番低いと思いますそれが證據に滿洲とか樺太から北海道の方にゆくと、却つて冬を主として作つてゐるから溫かい。すつと南にゆくと年中常夏という具合で世界中一番室内氣候の寒いのは日本丈です。日本の建物は夏を本位にして建てゝゐる、是がいゝんだといつて昔風にやつてゐる（私が寒がりか知れませんが）、今後は寧ろ冬を溫かくするという様な方面に建物をもつてゆかなければ、何時迄も最も寒い室内氣候におつては、冬の生活が萎縮して活動ができぬのみならず、非常に非能率的なものになつて具合が悪い。それに無理して暖房をしようとするればヒーターロスがあつて日本式な建物ではいくらたいても駄目だが、若し冬を主として考えて建てれば少したけば相當溫かくなると思います。

藤齋 同じ事は夏でも言えると思います。例えばいつも思う事ですが、日本銀行に入ると夏でもヒヤつとする。

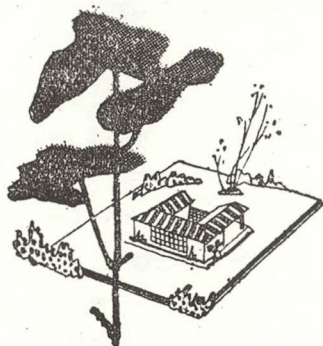
司會者 そうです。冬溫かくするという事は、夏暑くなるという事にはならぬと思います。寧ろ反對である。私はよく經驗しましたが、南方で日本式の家を作ると涼しいからいゝと思うが、是は却つて逆で、逆も暑くて反射なんか入つて居たゝ

まらない。寧ろ佛印邊りでも、煉瓦のカツチリした物にすれば却つて開口部の少い室の方が涼しくて非常にいゝんですから、確に冬を主としてやる事は夏暑いという事にはならない。

（能率第一主義）

城口 今の話は氣溫の問題ですが一番今度感じた事は、一般住宅にしても、兵舎にしても便利第一という風に、自分の自由に便利に使えるという事を主眼にしております。水道の數とか便所、バスなんかでもどんどんつけております。どうしたら一番便利かという事を主眼にしておるという事を熱々感じます。水道のパイプなんか少し出が悪いと承知しない。相當太くやつて心持よく出る様にしなければ承知しません。そういう意味で建物の恰好よりも寧ろ内部の設備を主眼にして生活しておるのではないかとつくづく感じました。極端な例ですけれど、ある一ヶ所に炊事場を作つた。ところがそこの細君ですかマダムが來て、是はいかん、直せといつてどうしても聞かない、主人がそれでよいと思つてもその夫人がこうしなければならぬと言えば、その方が便利と言えはそれに必ず變えてしまう。それは仲々主婦の權利というか日常使う人の便利にするという事に對しては、權威もあればそれを第一としてゐる。主人も服従するという事をつくづく感じます。

齋藤 確にそうですよ。私感じた事なんですがシャワーの高さをどう決めるべきかという問題が



斬新快適な。

設計と施工

素晴らしいデザインと優秀な技術により住宅・店舗の新築・改築・修繕・設計施工を承ります。 五階…建築相談所

大阪府割當ての建設院資材にてお引受け致します
大變御得策で御座るます
—御一報次第係員参上—



大丸

大阪・心齋橋
電南一三一

起つた。そうすると奥さんが尺を持つて来てこの位置にせよといつて寸法を與える、自分の高さを知つてゐる譯です。

浅海 そういう場合日本の住宅だと、どつちの言いなさる方にするか好いかと迷う場合がある。

城口 それから兵舎でも普通住宅でも、私ども考える以上に便所の数が非常に多いと思います。兵舎のシャワーの数なども多い事夥しいです。あの綺麗な建物の好い處へバスをつけたり、一番好い室に便所をどんどんつける。その数が多くて勿体ない様に思う。全く想像もつかなくつたですよ

河原 便利という事。オートマテイツクな便利さをアメリカは喜びますね。日本ではオートマテイツクの恰好丈は眞似をし易いんですけれども、暖房にしても水道にしても電氣にしても恰好丈ですぐ痛んでしまつて、結局使い物にならぬ。そこで日本の我々の常識として、オートマテイツクはゴチャゴチャしておる、痛み易いから結局使われ方がよいという事になり易いが、向うのオートマテイツクはそれがあると便利で却つて痛まぬという、そういう考えを持つてゐると思います。それは非常に研究してゆかねばならぬ事だと思います。暖房にしても節約について、オートマテイツクが非常に問題になると思います。非常に難しい問題だろうが考えなければならぬ点だと思います。

(管工事を主とする平面計畫)

今西 建築よりも設備の方に重点を置いた設計の根本方針を、最初に設備に置いたという私は体験をしたんですが。先ず兵舎の便所をつける設計をしろと言うのです。我々今迄の経験では平面圖を與えられてそれに従つてやるのですが、何も無いところに設計しろと言うので、現場の建築の主任も間違つて協議したのですが、平面圖も無いのがどうしたらいいかとウロウロした譯です。ところが結局お前の好きな様に設計しろと言う事を言われたので驚いた譯ですが、設備を先にやるのだと言う事を今まで聞いてはおつたが、建築の

平面圖も出来ていないのに、見積つて設備しろと言われたのには驚かされました。コンパインド・システムと言う考えでやつてゐるんですが、廊下とか間敷など、それから建築の方で考えられたのです。この点進駐軍が來られて我々建築の附帶設備の地位が非常に基準が増して來た事を現實に知つて、非常に嬉しく思つた譯です。

司會者 そういう風にある意味では向うの建築のプランをやる時の考え方が、この部屋にピアノを置く、ソファを置く、アームチェアを置くなどという事によつて、その客間の形が決つて來るといふき方ですね。

須賀 中味から考えるのですね。

司會者 そうです。それで私達はその部屋のプランを立てる時は家具を考える、椅子を此處にこう置くとこういう坐り方をするから、此處の場所はこうしなければならぬという事で考えてゆくのですが、在來の日本式の建物の考え方はそうでなく、六疊、八疊と疊の目だけ書いて、そこのテーブルの位置は書いてない。日本ではテーブルを置く場合もあれば、他の道具を置く場合もあり、蒲團を敷く場合もあり、そこで車座になる場合もある。こう變りますから日本の平面圖は部屋丈しかありません。形の方が先に決つて後で内容物を決める。外國は反對だと思います。そういう具合にしないといけないらしいですね。

(今後の管工事業者の立場)

今西 設計圖の話ですが、相當の建築が之から出來ますが、附帶の管工事屋と建築の進捗との出合關係に於いて非常にトラブルが起る。そういう場合、双方の施工面において附帶設備を重視して頂きたい。取付のインストレーション迄が我々の方は大事ですから——施工々程に於いて協力願いたい。我々水道、衛生を邪魔物にしてやられると結局施工地面の漏水とか言う様な事になるので、此の点監督者として、綜合業者という意味から附帶を重視して貰わねばならぬかと思ひます。

守安 建築屋さんに技術の向上という學校の話が出、少し私感したことですが、京都大學で暖冷房の講義が必須科目になつているのが機械科丈なんです、建築土木は選擇科目になつております。それで従來は機械科の者が必須でやつておつたんですけれ共、最近になりましてよい傾向と思いますが、機械科出身者が暖房をおやりになる者は千人に一人しかおらぬという意味かどうか、講義の聴つ振りが悪く成績も悪い、選擇科目の建築屋さんが出席されて試験があつても非常に成績が好い非常に結構と思つております。進駐軍が來ても附帶設備がよく認識せられたという事をよく言うておりますが、そういう處にも恐らく現われたんだろうと思つております。

京都のは只一つの學科ですが、藏前とかは恐らくそれは一つの教室と言いますか、機械科とか建築科とかいう様なものに對等する様なものが出来るのだらうと思いますが、そうなれば非常に結構と思ひます。從來兎角どうも厄介者扱いされておつた附帶設備が、最近若い人の間でぼつぼつ研究されているという事は確に私は認識しております、結構と思ひます。建築屋さんこそ如何に建物を建てようとも附帶設備は付き物ですから、一人か二人位しか出ない機械科に必須科目としているのは何といつても解せない。昔からの習慣からであらうが。

中村 然し設備、暖房、水道、衛生を實際に施工するというか、設備するのは建築屋さんにも必要かも知れぬが、それに對する本當の研究は機械屋

の範じやないでせうか？例えば最近一寸よく出ておりますけれ共、暖房なら熱煤と言いますが、今後は低壓の高溫の何かそこに冷煤がないかという事を、研究しなければならぬという話が出ておりますが、そういう基本的な研究は機械科の方に入りはしませんか？

守安 そういう研究は特殊の人、三十人のうち一人か二人で、大學院にでも残つて研究するとかすればよいので、機械科全部にというのは不合理じやないかと思う。機械の方も選擇科にして、建築の方こそ必須科目にして誰も聴いておくという事にせなければならぬのではないかと思います。

堤 衛生工事もありますか？

中村 ありません。

堤 建築科か何かに？

守安 どこにもありません。あれは大學で教える事ではない、ポンプなんか大學に向かないという古い頭ですね。

城口 早稻田ではすつとやつておるんだが。

中村 それも必須科目ではないらしい。

城口 何かセオリー附けて講義している筈なんですがね。

中村 必須科目にしなければいかんですね。

山田 鐵骨は——。

石河 設備丈の部分をつ分に分けて意匠の方は繪を畫く方、構造、計算の方は繪を畫くのは下手だから鐵骨計算とかに廻る、設備の分は構造でもなく意匠でもない設備専科にして之が専門になつてやつております。去る昭和五年から分れてやつております。

守安 戰爭中講義が止んでおつたが、戰爭終了後又復活して建築の生徒が二十名許りおるのが全部聴きに來る。非常に成績がいいです。機械科のやつは全部來ません、試験だけ受けているが非常に成績が悪い。

須賀 機械科の技術者が必要と思うんですが？

守安 そういう人は僅かだから寧ろ必須科目にしても一年に二、三名ですから、大學院でゝも研

家のクリーニング

★古家屋が新築同様となる美素工事
★新築家屋にお手入のいらぬ美素工事 請負
★石・タイル洗淨工事

株式 美素工業所
會社

大阪市東區瓦町(堀筋)三和ビル三階

電話 新町 5777番

究してもらつて、建築屋さんの方は全員やつて頂きたい。両方必須にするか、必須と選擇を直して頂くかして貰いたいと思います。

(日本の一般民需の現状資本・價格)

司會者 先程からの進駐軍の話ですが、日本の何と言いますか、教育方面をどうしなければならぬか、將來に對する希望について色々御意見がありました、時間の都合もありますので現在のですね、日本人の作り、日本人の住む建物における電氣あるいは、その他衛生工事等の資材面、價格工賃から官廳方面の許可とかそういったもの、したくも許可されないとか、輸入資材の割當が少いから現状においてはこんな程度しか出來ぬという様な、多少前の話と變つて貧乏臭い話ですが、その点御意見を承りたいと思います。

電氣の方からでもどちらからでも結構ですが、日本の現在建ちつゝある家の、將來は別にして、一應現状から——眞壁、木造建築に暖房しようと思うが絶對駄目ですか、一番簡単な方法で裝置出來ませんか？

栗原 電氣暖房は危いですね。

司會者 進駐軍は日本家屋のヒーテング・ロスをどういう風に解決しますか？

栗原 浪費していますね。

守安 暖房でなくてもストーヴで代るのじやないですか？

須賀 浪費ですね、あれは。

守安 日本家屋の暖房はあゝいう風に浪費してはいかんが、あれが一番いゝのじやないですか、そういうようになって来るんじやないですか、差當りは。

栗原 民間住宅の場合は府、市でやつているような場合、ボイラーを一ヶ所に置いてすつとパイプでスチームを通すことは出來ます。

齋藤 そういう事になれば熱が来るまでに大分失われます。我々の方でパネル・ヒーテイングをやりますが、電氣で簡単に出來ませんか？例えば

アメリカなんかでやつているが、電氣座布團といった様な方法で。

中村 壁の中にはめこんでやつております。

齋藤 パイプを引いてやる暖房はなくなるんじやないかと思ひますね。電氣に變ると思ひます。

浅海 變りたいのですが。(笑聲)

城口 日本家屋にはストーヴが一番いゝでせうストーヴだと熱源が一番簡単な方法で解決するから。

齋藤 スイッチ一つ入れると、天井から光線と熱と一緒に出て部屋が温もるといふのがあつたですね。

須賀 將來はそういうものに變ると思ひます。部屋全体を温めず、壁とかなんとかの面を温めるんです。將來熱源はそういう風になつて来る、恐らくパイプの時代は短いと思ひます。

中村 私は太陽熱を利用するやつを——(笑聲)

須賀 今のまゝでは——。

司會者 地熱の問題もあるんでせう。

守安 ある程度利用したものは出來ます。京都電燈で地熱を利用して冷凍機を使つてボイラーの代りに使つています。

今西 北海道で、部屋の眞中に床を二重に張つて、その眞中に作つてやつて、寒暖計を全部キツと計つた例が出ておりますが、北海道で一ヶ月普通の家でストーヴをたくと二トン要るところをこれでやれば一冬一トンですむという記録が出ております。だから日本の家屋においても非常に余地があるという論文がありました。

河村 ファネスヒーテイングの案も大きな室では出來ませんね。

齋藤 そうですよ。

司會者 資材などが兎角高くて困るがこういう資材は現在、物價指數に比べて安くつくというような、實際問題について——。

暖房をしてくれとよくいわれて困るんですが、ざれ程の豫算を先方へいうたらいゝもんでせうか？、時々贅澤な注文があるんですが、結局燃料は

パネルヒーティングがいゝ譯でせうが、二、三十度くらいですか、部屋を温めるのは？

須賀 ちよつと無理ですね。

守安 百五、六十度というところだがどうですかね。

齋藤 七、八十度ですね。大体パネルヒーティングの簡単なボイラーを考へて最も安くつく、一回だけ暖房するという方法で大体坪當り七千五百圓位ですか、暖房は坪が大きなほど安くつきます。普通暖房にしてボイラーから何から入れて設備費が一萬一千圓位掛りますからね。

司會者 最近十五坪住宅あたりでも水洗の淨化槽をしたいという希望があるんですが、その時五人家族と假定すれば最少限淨化槽の費用というのはどの位ですか？、コンクリートの淨化槽、大きさによつていろいろ煉瓦積、中の裝置そういったものについて考えることもありませうが。

堤 十萬圓くらいですか？

石河 十萬圓ではきゝません。排水ポンプなんかつけますと相當かゝつて來ます。

齋藤 少し安くせないと設備しません。

須賀 淨化槽のもう少し簡便な方法は——？

伴 今やつとるんです。

齋藤 淨化槽をやらすに郊外の果樹園なんか利用して、その下に伏流さして浸透させるという方法にすれば、外國ではやつているがこういうものは日本では衛生的にどうですか？

伴 アメリカ人は生野菜を食うからいかんというんですよ、野菜の肥料にするからいかんというのです。アメリカでもイルゲーションといつてやつているが野菜にかけるなら悪いが。

司會者 一メートル位なところを散布させるんですね。

齋藤 非常に吸込がいゝ場合はね。

伴 實驗を神奈川局でやりましたよ。

齋藤 實は自分でやつているんですが、今の規則からいうてはいかんのですが、便利なところからやつているんです。すつと井戸の遠くの方に

もつていつて肋骨のようにして。

司會者 イギリスあたりでやつているようす一人當り何フィート、百人なら何フィートの肋骨に作ればいゝというのがあります。

齋藤 日本でも許してもらえれば——。

伴 神奈川でやりましたがどうしてもいかんというのです。

司會者 そうしなければ水洗式にしろといつても難しいでせう。一番最少限でも世界的に一番高いんじゃないですか？、

齋藤 非常にいゝと思いますね。議會あたりへ運動して何メートル離れゝば差支へないという風に、普及という点からいつても。

司會者 大いに今後その方面に努力しませう。

齋藤 資材の事で話がありましたが、建築にあつては配給資材は、電氣の電線の配給はありますが、管工事のパイプは一つも配給にならない。

須賀 今一生懸命やりつゝあるのですけれど。

伴 淨化槽の資材を申請しますと、是は厚生省の割當資材で非常に微々たるものです、仲々申請しても許可にならない。今一番困つているのは、だから淨化槽の資材です。そうすると自然手持資材でやるという建前で許可を受けております。

石河 それが建築の場合にやらねばならぬのに後で決つたら駄目になる。

伴 アメリカでは設備の許可がないものは建築を通さないという事になつてはいる様ですが、日本でもそうならないといかん。建築の許可がなければ設備の許可がないというのはアメリカと逆なんです。早くそういう風にならなければいかんと思います。

司會者 設備を抜いて二軒作るより、設備資材を一軒に集中した方がよいという考え方ですね。

伴 日本人的な考えで便所の扉に楠の一枚板を使つてやつておるんですからね。

石河 床柱を眺めているような時代ではないですからね。

司會者 電氣の方は普通住宅坪當りいくら位資

材が来るんですか？、

中村 一坪〇・一だつたかな。

栗原 パイプの方は先だといつてくれない。

伴 その点管工事は乗氣がないんですよ。明りは行燈時代からどんどん発達しているが、便所とか水道の方はツルベとバケツがあれば足するという観念が残っているように思う。

堤 資材ばかりではない。食糧の加配米も電気の方は一つの事業になつていますが、管工事は土木建築の方に含まれている、そこで仲々やり難いことがある。電気は獨立しておるが管工事は土木建築の方から貰えという様なことになります。その点も大分違います。

伴 大体管工事という名前が最近ですからね。

山田 管工事という名前が出来てからいけないんです。戦争中バケツさえあればいゝ、水道掘るのは贅澤だといつて。

齋藤 竹のパイプでね。

中村 建設法が出来ますが、電気の方も土木建築の何か一部分となつてしまいうらしいですね。

伴 建設法が出来ると管工事の方もなんとかなるんじゃないでせうか？

司會者 今ですね。淨化槽について規則の改正によつて大いに普及していゝ、寧ろ今の規則はブレーキをかけて困つていゝというお話があつたが電気の方はありませんか？

須賀 ありませんね。

浅海 電熱なんか許しませんからね。

栗原 工作規定なんか全然保安の目的で作つたものですから、あれ文はカツチリやつておかぬと火災やなんか起るので、これ文はどうしてもやつておかねばならぬことで、乱暴にやられたらどんな事になるかわからない。

石河 電熱器を許しませんから好い仕事は出来ませんね。

中村 電燈でも燈數制限がありましてね。

浅海 我々でも不安に思う様な電線になりましたからね。

司會者 最近チューブのものが出来ましたね。あれは始めの施設費というより維持費、電力消費量、そういう事からチューブという事になるんですか？

中村 電球ですね。螢光燈の様な管球燈ですね。あれは電力消費が非常に少いが非常に高いですね。裝飾、ショーウインドによいが普通の家庭にはイニシヤル、コストが高いですね。高いところへ故障が起れば、取替に又金が掛るし普通の家庭には向かない。

司會者 少いから高いんですか？

中村 専賣にもなつていますから。

栗原 東京電気より外はこの螢光燈は作れないんです。

中村 農事電化の方で御獎勵になつております誘蛾燈なんかに獎勵しておりまして、私の方でも力を入れておりますが相當高くつくんです。

河原 高いが燭光に直すと200Wの電球に相當するのが大体20Wでゆきます、電力の消費量は何割かはつきり覚えていませんが、全部計算すれば配電會社の方で當然生ずる電力設備費は浮くであろうと思います、相殺になるのです。螢光燈は80%の光度に落ちるのを壽命といつていますが、今のやつで千六百時間（途中で切れたのは別ですが）普通電球が千二百時間だから、壽命は余り變りはありません。色々新品も出ていますが、ネオン管なんか今一メートルの短いものですが、アメリカでは十メートル、二十メートルのものが出ておりますから、次第にもつと發達するのではないかと思います。

栗原 將來事務所や工場照明はあれに變るでせう。

司會者 將來性のあるものですね。どうも本日は御多忙中の處、大變有益なお話を承りまして有難うございました。編輯の方々に代り私から厚くお禮を申し上げます。

（完）

大阪競輪場

- ◎工事場所 大阪市住吉區住江公園
 ◎設計 大阪府土木部計畫課
 ◎施工 株式會社 市村組
 ◎工事期間 { 自昭和23年9月1日
 至昭和23年11月25日

工事概要

自転車コース	幅員 9.00米	長 500.00米	勾配最小 0.36%	勾配最大 1.82%	山土倉浦装		
陸上トラック	幅員 7.00米	直線 400.00米	直線 100.00%	整地ミ	7イルド 整地ミ		
建物工事							
部 名 称	坪 数	基 礎	軸 組	屋 根	外 部 仕 上	内 部 仕 上	備 考
イ. 既設 スタンド		鉄筋コンクリート		鉄筋瓦構葺 (スレート)葺	モルタル掻落シ		
ロ. スタンド	115.00	鉄筋 コンクリート	木 材	菅束 鉄筋葺	下見板張 7/8オヤシ連	電柱コンクリート +214cm	壁 縦筋目板張リ 野地板張リ
ハ. 投テ	228.00	煉瓦積	リ	石綿 スレート葺	横板目板張 ベニヤ張り	縦筋目板張 コンクリート 7/8オヤシ連	縦筋目板張リ 晒
ニ. 支拂所	71.00	"	"	リ	リ	7/8オヤシ連	リ
ホ. 登壇控室	30.00	"	"	葺型スレート葺	横板目板張 縦筋目板張 7/8オヤシ連	7/8オヤシ連	横板目板張 縦筋目板張 ベニヤ張り
ヘ. 便 所	7.50	"	"	リ	縦筋目板張 7/8オヤシ連	リ	外部金床ベニヤ張り
ト. 改札所	4.00	"	"	リ	横板目板張 縦筋目板張 ベニヤ張り	縦筋目板張 ベニヤ張り	晒
チ. 審判所	1.50	"	"	並釘鉄筋 ベニヤ張り	リ	リ	縦筋目板張 ベニヤ張り
屋外工事	木柵、鉄網柵、板塀、自転車置場						
附帯工事	審判所等限り各建物=電気、水道1施設						

※ 上表中符號ハの名稱、投の次の二字脱落は投票所故御記入置下さい

概 説

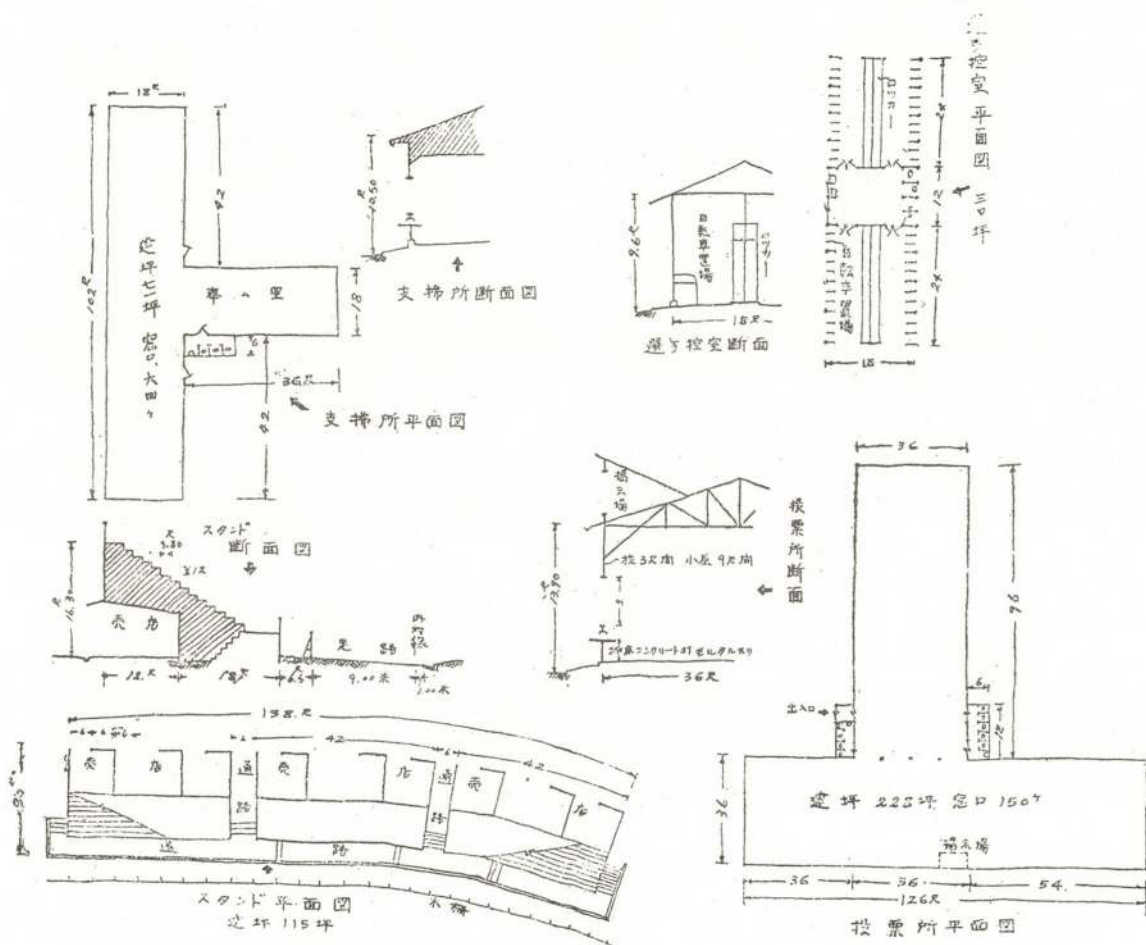
昭和23年8月1日自転車競技法が告示されたので、大阪府に於て此れを実施する事になり、敷地を住江公園内に取り設計したもので、工事竣工、競技開催後に於いて、選手及他方面関係者の意見及希望等を綜合し、必要を感じた構造施設等を記し、今後の計畫に一參考資料ともなれば幸ひと思ふ。

敷 地

府の住江公園敷地の約15,000坪を自転車競技敷地とし、既設の400米陸上競技場及木造スタンドを擴張すると共に、浪速宮(元護國神社)に東接した約、2,200坪の敷地に投票所其他の設備をなす。

自転車走路

既設の木造スタンドを中心として、幅員9米(9コース)長500米の自転車走路を、自転車競技法により設計したもので、勾配を直線路に於て36種、カーブで最大182種とし、山土舗装、一部土盛スタンドを構築す。此れに要する土量は、投票所、其他建物敷地が高地であつた爲、約2,600立坪を鋤取り、これに當てる。



此の舗装は、コース使用の面よりは良好であるが、唯雨期等の場合、維持、修理にやゝ難点があると思う。

木造スタンド

収容人員約、1,300人とし、既設スタンドの兩翼に115坪を取る。

此の競技は競馬と同様、車券を發賣する爲、野球等の陸上競技と違い、スタンドに於ける観客の移動が甚だしい爲、出來得るだけ、スタンド乗降通路を設ける必要がある。競技中は、坐る人が殆どなく全て立見である爲、敷地のゆるす限り、少くともコースの柵と、スタンドの間を6間以上取る方が良いと思う。

投票所

連勝式を行う爲、150の窓口を取り、設備としては便所のみであるが、必要事項としては、

1. 建物幅は最小、6間は取る事。これは、内部事務員の活動は、2重、3重、の組織になっている爲、狭い場合活動不能となる爲である。
2. 内部に炊事場を設ける事。これは内部事務員の外部との交接をさける爲である。
3. なるべく凹部を少くし、窓口の利用を大にする事。

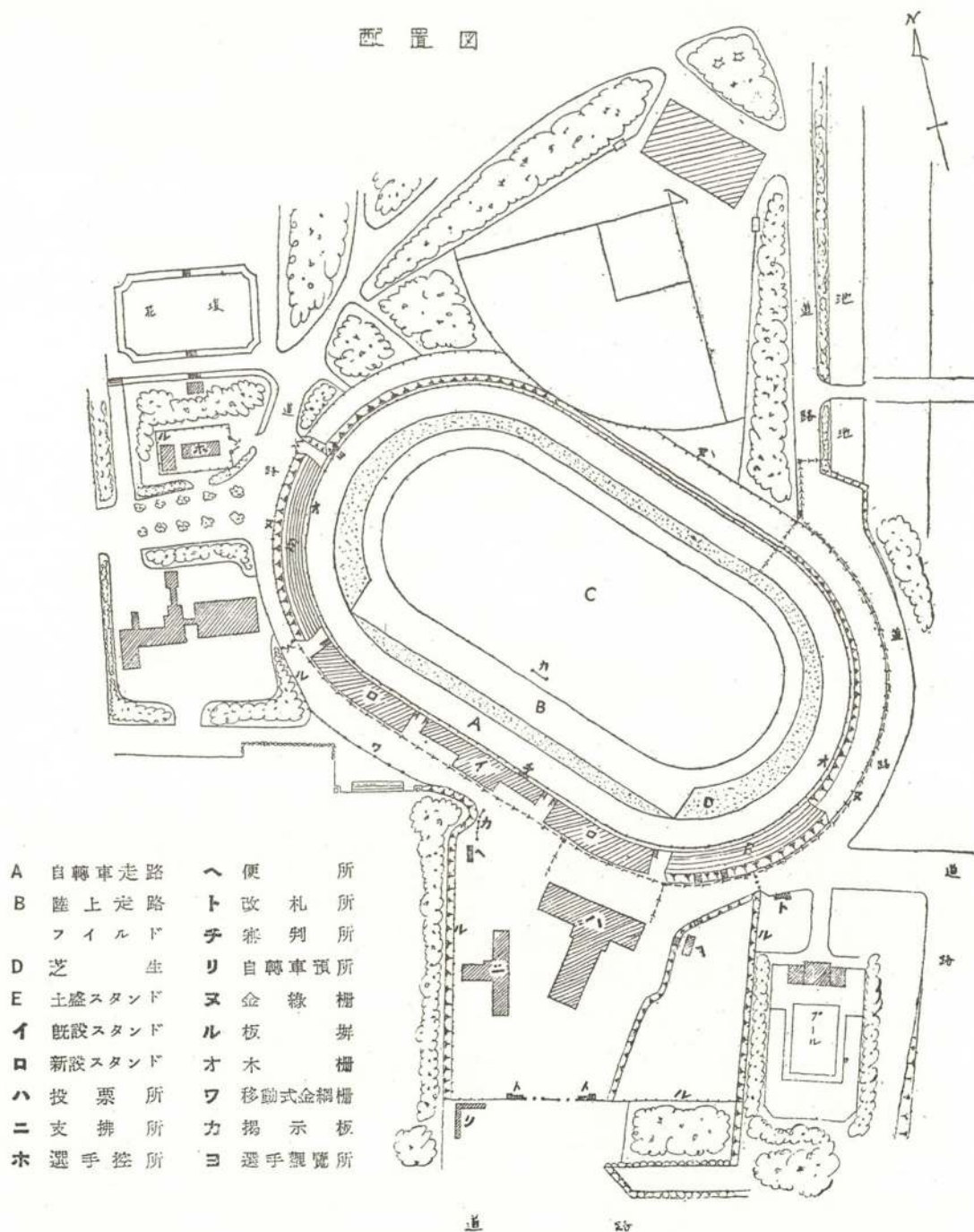
4. 窓口前面の廣場は、少くとも10間以上とする事。

5. 投票所の作業は多く、女子従業員によつてなされているので、便所も女子用を主としたものとする事

支 拂 所

當回、前回、前日等の支拂として、64の窓口を取り後部20坪を事務所とし、便所を附設する。この

配 置 図



A	自轉車走路	ヘ	便	所
B	陸上定路	ト	改札	所
	ファイル	チ	審判	所
D	芝生	リ	自轉車預	所
E	土盛スタンド	ヌ	金縁	柵
イ	既設スタンド	ル	板	柵
ロ	新設スタンド	オ	木	柵
ハ	投票所	ワ	移動式金網柵	
ニ	支拂所	カ	掲示板	
ホ	選手控所	ヨ	選手觀覽所	

作業も同様、女子が主となるので、便所は投票所同様女子用を主とする事。必要事項としては、

1. 投票所と同建物内とする事。敷地の都合上、別棟にする場合は、投票所との連絡の便を考慮する事。

選手控所

與へられた30坪で自転車置場、便所、シャワー室、控室の設備をしたが、最小約、100名位の選手と、附添人が入る爲、收容し得られない状態で、隣接した神社の道場を利用している。

選手等の希望を挙げれば

1. 疊敷の部屋とする事。
2. シャワーよりも、むしろ風呂場を設備する事。

公衆便所、改札口

公衆便所は、場内二箇所、改札口は、正面二箇所、側面一個所に取つた。

屋外工事としては、コース外柵に木柵、場外との隔てとして、金網柵、板塀を設けた。

排水工事としては、各建物よりの排水は、スタンド外部の本管に、場内排水は、東北面に、それぞれ一括し池に連絡す。

色彩

色彩は、スタンド、便所等は地味にし、投票所、支拂所は、最も明るくするのが良いそうである。

工事進捗状況

本工事の時期としては、9月1日—11月25日間で、仕事の上では最上の季節であり、短期を考え、各建物の壁材は全て、板張りとした爲、無理は無かつたが、例年に比べて雨が多く、其の上敷地の水位高く、基礎工事及排水に困難があつたのと、投票所、其他主要建物が一米許り土を鋤取つた後でなければ基礎工事にかゝれない爲、工期一杯を使用出来なかつた事であるが、反面人員、資材、等が最も圓滑に働いた事により工期をとりもどして契約の期間内に竣工した次第である。

御 願

本誌三、四月號にて御願ひ致しておりました、『建築と社會』第26輯欠本の分は此度會員の方から第1號を二部、第9號を一部御譲下されたので、尙第9號が一部欠本となつておりますので、お譲り下の方がありましたら本會編集部宛御郵送下さるなり又は御知らせ願へば参上致します。

送料の外謝禮は着本の上御届け致します。會員各位御斡旋あらん事を特に御願致します。

社團法人 日本建築協會

本會事務所 朝日ビル6階電話土佐堀(44)1836

分 室 市内東區天神橋 大阪建築會館内

電話東(94)0861~6・1251~5

強くて優雅な

リグノイド床

専門  施工

田辺工業有限會社

大阪市西區江戸堀上通一丁目五
電話土佐堀 44-3425

1. 假 設 工 事

1. 敷地縄張り(建坪當リ)

名 稱		單位	木 造 住 宅		
木 材	木 杭	石	0.01		
繩	1把36間トス	把	0.06		
人 夫		人	0.10		

2. 水 盛 遣 形

名 稱		單位	建 坪 當 リ		一ヶ所當リ		間ヒ遣形 間 當 リ	特殊ナルモノ	
			木 造	コンクリート	平遣形	隅遣形		塀	石垣
水 貫	・05×.30×13.2尺	石	0.05	0.10	0.01	0.02	0.01	0.0025	
水 杭	.20×.20×10.0尺	〃	0.10	0.20	0.04	0.06	0.04	0.01	
釘	1/2"~2吋	貫	0.13	0.025	0.0025	0.005	0.0025	0.001	
大 工		人	0.20	0.50	0.04	0.08	0.04	0.01	0.04- 0.06
人 夫		〃	0.20	0.40	0.04	0.08	0.04	0.01	〃

- (註) 1. 間ヒ遣形トハ建物周圍ヲ取巻キ設ケタル遣形トス、單位延間當リヲ示ス。
 2. 塀ハ塀1間當リトス。
 3. 石垣ハ面坪當リトス。

3. 足 代・棧 橋

			材 料	長丸太	切丸太	繩	鐵線	足場板	嵩
			單 位	本	本	把	kg	枚	人
延 間 當 リ	木 造	平 家 建		3.0	—	0.75	0.32	0.2	0.22
		二 階 建		5.0	0.5	1.25	0.53	0.3	0.50
		三 階 建		8.0	0.6	2.00	0.85	0.4	0.80
	鐵 骨 造 平 家 建			11.0	5.0	2.75	1.16	0.6	1.10
	鐵 筋 コン クリ ート	二 階 建		11.0	5.0	2.75	1.16	0.6	1.10
		三 階 建		12.0	7.0	3.00	1.28	0.6	1.20
		四 階 建		16.0	10.0	4.00	1.70	0.8	1.60
		五 階 建		19.0	11.0	4.75	2.02	1.0	1.90
	建 坪 當 リ	木 造	平 家 建	1.7	—	0.43	0.18	0.2	0.14
			二 階 建	3.0	0.4	0.75	0.32	0.3	0.3
			三 階 建	4.0	0.5	1.00	0.48	0.5	0.4
		鐵 骨 造 平 家 建		6.0	3.0	1.50	0.64	0.6	0.6
		鐵 筋 コン クリ ート	二 階 建	6.0	3.0	1.50	0.64	0.6	0.6
			三 階 建	7.0	4.0	1.75	0.74	0.7	0.7
			四 階 建	9.0	5.0	2.25	0.95	0.8	0.9
			五 階 建	11.0	6.0	2.75	1.16	0.9	1.1
		室内足場(天井高12尺)		2.9	0.4	0.73	0.31	0.3	0.22

- (註) 1. 繩ハ一把36間、2.6貫トス。(丸太1本=付約0.3把トス)
 2. 鐵線ハ18番線トス。(50kg/卷、0.00971kg/m、0.0029kg/尺)(丸太1本=付約15m)
 3. 足場板ハ長1間トス。
 4. 長丸太損料ハ1~3ヶ月25%、6ヶ月35%、1年50%、1年以上75%
 5. 切丸太、歩數ハ長丸ノ1/2トス。

機 一 組 ニ ツ キ 橋	名 稱		單位	二 階	三 階	四 階	
	丸 太	長 丸 太	本	28	68	138	
		切 丸 太	"	38	65	103	
	薦 人 夫		人	1.5~3.0	3.5~7.0	7~14	

(註) 建地、布、手摺、筋違、控、繋ギ……長丸太使用。

建地、根太、手摺、筋違、控、繋ギ……切丸太使用。

階高ハ12尺トシー面ハ足場利用スルモノトス。

釣足場	J型持出梁(180×100)、ロープ(4分径×100尺)、植込ボルト、同座金、パイプ座鐵、 繋鎖、足場桁、引上ロープ、安全欄干、支持物、足場板、内部輪、
-----	---

4. 現 寸・短 計 (延坪當リ)

名 稱		單位	日 本 建 築	洋 風 建 築	
木 材	主トシテ板材、間尺等	石	0.01	0.02	
大 工		人	0.05	0.10	

5. 假 設 建 家 (建坪當リ)

名 稱	建 物 ノ 種 別	單位	下小屋	材料倉庫	飯 場	現事務所	假便所
			15~20坪	10~15坪	8~10坪		
	本工事延100坪ニ付キ						
木 材	下小屋ニ丸太使用ノ時ハ6本	石	1.0	1.5	2.5	2.3	3.0
釘		貫	0.25	0.35	0.55	0.50	0.65
ルーフィング		坪	1.45	1.55	1.60	1.80	2.60
壁		帖	—	—	1.50	0.50	—
建 具		枚	—	0.2	1.8	1.4	2.0
硝 子	20%余額ヲ見込ム	尺 ²	—	—	20	15	—
建 具 金 物	建具金額ニ對シテ	%	—	25	20	30	—
電 燈		灯	0.2	—	0.3	0.35	—
下 須 費		箇	—	—	—	—	2
大 工		人	1.8	2.0	3.5	4.0	3.0
人 夫		〃	0.9	1.3	3.5	4.0	1.0

(註) 假設建家損料ハ70%トス。

6. 假 設 家 具 (1脚ニツキ)

名 稱	家 具 ノ 種 類	單位	長 椅 子	角 椅 子	机	
					6.0	3.0
木 材	寸 法 (尺)	長	6.0	1.0	6.0	3.0
		巾	1.0	1.0	2.5	2.5
		高	1.4	1.4	2.5	2.5
	板 材	石	0.04	0.01	0.10	0.05
釘	小 割 材	"	0.08	0.04	0.15	0.09
	(計)	"	0.12	0.05	0.25	0.14
	大 小 共	貫	0.05	0.02	0.11	0.06
大 工		人	0.24	0.10	0.50	0.28

(註) 假設家具トハ臨時的ニ使用スル爲、工作スル机、椅子ニシテ、板上面ノミ鉋削ヲナスモノトス。

7. 假板圍ヒ (長1間=付キ)

名 稱		單位	高1間	高1.5間	高2間	高2.5間
木 材		石	0.40	0.65	0.90	1.15
釘		貫	0.06	0.09	0.13	0.17
鋸		丁	1	2	3	4
補強金物	ボルト等	貫	0.06	0.08	0.10	0.12
鐵 線		kg	0.080	0.085	0.090	0.095
繩		把	0.15	0.20	0.25	0.30
コーラタール		l	0.07	0.08	0.09	0.10
大 工		人	0.3	0.4	0.5	0.6
人 夫		人	0.2	0.2	0.3	0.4

(註) 損料ハ64%位トス。

8. 竹矢來圍ヒ (長1間=付キ)

名 稱		單位		
木 材	建地.控.30×.30×10.0	石	0.15	
唐 竹	目返4寸×2間ニツ割(胴縁.押縁)	本	3	
〃	〃 3寸×1間 〃 (竹矢來)	〃	24	
釘		貫	0.01	
鐵 線	18番100尺	kg	0.3	
コーラタール		l	0.1	
人 夫		人	0.3	

9. 脚立及梯子 (1箇=付キ)

名 稱		單位	脚 立	梯 子	
木 材		石	0.70	0.15	
釘		貫	0.025	0.10	
大 工		人	0.30	0.07	

(註) 梯子ハ長2間トス。丈ノ場合ハ4トス。

10. 養生費 (延坪當リ.布基礎ハ間當リ)

名 稱		單位	木造建築	鐵筋コンクリート造	布基礎
木 材	杉 中 貫	石	0.006		
藎		枚	1	2	1
人 夫		人			

11. 建物上家 (建坪當リ)

名 稱		單位		
長 丸 太		本	3	
繩	1把36間	把	0.5~0.7	
鐵 線	16番43m	kg	0.75	
釘		貫	0.3~0.19	
亜鉛鍍波型鐵板	2.2×6尺	枚	3.35	
嵩		人	0.5~0.7	

12. 假設土橋 (巾1間=付)

名 稱		單位	梁間3尺	
丸 太	35φ×2間	石	0.81	
補 強 金 物	ボルト. 其ノ他	貫	0.60	
大 工		人	1.00	
人 夫	盛 土	"	0.03	

13. 危險防止防音及設備 (1面坪當リ)

名 稱		單位	葦 簀 張	鐵 網 張	シ ー ト 張
葦 簀	6×6尺 (又ハ6尺×9尺. 12尺)	枚	1.1	—	—
唐 竹	廻リ4寸ニツ割 3尺間	本	2間モノ 2		
木 材	胴縁 3尺間	石	0.06		
鐵 網	No. 21 5分目 30×6尺	卷	—	0.22	—
シ ー ト	12×18尺	枚	—	—	0.19
薦		人	0.07	0.13	0.10

(註) 1. 鐵網張損料60%, シート張76%トス。

14. 假設電線架設 (100m=付)

名 稱		單位	電灯架線	動力線架線	
丸 太	3間丸太. 50m間隔	本	2	2	
電 線	第4種電線. 300m/卷	m	210	315	
碍 子		箇	4	6	
電 工		人	0.4	0.5	
人 夫		"	0.4	0.5	

電線ノ太サノ決定	電線ノ種類	第四種單線 (mm)					第 四 種 燃 線 (mm ²)									
	モーター H.P.	1	2	3	5	7½	10	15	20	25	30	35	40	45	50	60
	電 線 ノ 太 サ	1.6	2.0	2.6			14	22	38			60				100
	安全電流 A.	15	20	30			55	75	100			145				200

一 日 間 ノ 電 力 量 ノ 計 算

$\left\{ \begin{array}{l} \text{機械ノ所要電力} = (\text{機械ノ馬力H.P.}) \times (\text{一日ノ實働時間}) \times 0.75 \dots\dots \text{K.W.H.} \\ \text{電灯ノ所要電力} = (\text{電 灯 線 W 數}) \times (\text{同 上}) \times 1.00 \dots\dots \text{〃} \\ \text{電流A} = \text{ワット(W)} \div \text{ヴォルト(V)} \end{array} \right.$

15. 標 示 物 (1ヶ=付)

名 稱		單位	立 札	工事物看板1.5×3.0尺
木 材	梓板 脚 共	石	0.025	0.12
釘		貫	0.007	0.05
ペンキ塗		坪	—	0.15
大 工		人	0.10	0.25

上掲資料は會員川村統之氏が三年このかた、経験により集録された「建築積算便覧」で、菊判型として今後毎號連載してゆきます。切抜の上保存下さる様願います。最近、實務に當られた方のこの様な資料の少い折柄、會員各位の参考の一端になれば幸甚であります。(編集子)

労働生活の感傷



その三

ソ連の首都モスクーは今世界の注目の的となつてゐる。冷い戦争と共産主義の思想攻勢がこゝから世界の各地に展開され、首都モスクーの表情は世界から注視されてゐるが、鐵のカーテンとして謎の國とされてゐるとき、モスクーを語ることは無意義ではないだらう。

モスクーの道路は100米の巾を持つたゴール街を中心に、60米位の道路が縦横に走つてゐる二段構への地下鐵（メトロ）は、獨ソ戦を通じ今も尙地下深く延長工事が進められてゐるが、大理石に包まれた完成された地下鐵の立派さに目をみはるのである。

市街を取まく環狀鐵道、市電、大型バス、無軌道電車、タクシー、貨物自動車は忙しく走つてゐる。交通巡査が美麗な服装で二人宛道路の各所に立番して、貨物自動車の取締をやつてゐる。

ソ連の貨物自動車は全く國營の工場に配置され輸送證明書がなければ決して通行が許されないのである。吾々を毎日運んでくれた貨物自動車にも此の證明書が運轉合に掲げられ市中を走つてゐるのである。

日曜日は全ての労働者、事務員達が休むので、従つて全ての國營商店、協同組合の商店も休業であり、日曜日に外出して買物したり、飲食することは出来ない。だから日曜日には市民は國營競技場『デナモ』に集つて、『フットボール』を見物したり、公園等で『フットボール』『バレーボール』等のスポーツに楽しむ位で、映畫館に行くには朝から一列を作つて切符を買ふ順番を待たねば

ならないし、その切符も開演十分前でなければ決して發賣されない定員制である。パン配給所（マガジン）は主食だけに各所に設置されているが、日曜日は一部を除いて殆んど休業である。

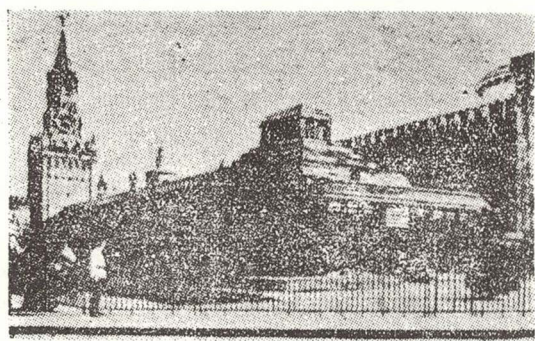
こゝソ連での日曜日は労働者、事務員にとつて楽しい日曜日ではない様だ。而し音樂好きな若いソ連人は、土曲日の夜から日曜日の朝にかけて夜を大いに楽しむ。アコーディオンを奏でて廣場や公園に集つてダンスやロシヤバレーを踊つて居り若いも若きも夜の散歩等は好んでやつてゐる。

夜のゴールキー街は常夜燈が煌々と輝いて晝の様に明るいが、日本や米國の様に商店街が營業されていないので淋しい街としての印象が深かつた冬のモスクーは全く氷に閉された都會である。零下30度のモスクーの冬は、四六時中氷と雪と戦つてゐる。子供にとつては、冬はどこでもスキーを楽しめる喜びがあるが、市民は雪がどんなに澤山積つても、24時間以内に必ず雪を道路から取り除かねばならない義務になつてゐる。市中の道路もレールも全く凍りついてゐる。それを夜となく、バールとスコップで除雪作業、除氷作業が続けられるのである。モスクーを襲ふ冬將軍には全く閉口する。吾々を乗せて運ぶ貨物自動車にはペニヤ製のホロがあるが、凝つと座つてゐることが出来ない。防寒具で身を包んでいる私達だが、凝としていたら凍傷にかゝつてしまうのである。

モスクーを襲ふ冬將軍に最も惱まされたのは、第二次世界大戰でのヒットラーの率いるドイツ軍だ。防寒具のないドイツ軍のモスクーへの進撃部隊が、ソ連軍に逆に包圍されセンメツさせられて居り、モスクーを三日占領したナポレオンもモスクーの冬將軍に惱まされて敗走したのである。

冬のモスクーと共に有名なのは霧のモスクーであらう。一寸先も見えない夜霧、夜明け前、全く暖かな日本に育つた吾々は、モスクーは住みにくい都會であると思つづく感じられた。

モスクーはツァー王朝の首都として800年の歴史を持つた古都である。有名な赤色廣場、クレ



レーニン廟

ムリン宮及び城壁、ギリシャ正教の古い寺院、時計塔レーニン廟は余りによく知られて居り、時計塔の尖端に輝くスバスクの赤い星の下、ここ赤色廣場を作業場の監督の好意で見學させて貰つたが流石800年の歴史を持つ古都モスコーだと思つた。城内の奥の丘の上に立つたクレムリン宮殿はモスコーのごとも見渡せられた。赤色廣場にあるレーニン廟には見物人が列をなして立つて居り、そのレーニン廟の右の方に日本の社會主義者として此先驅者片山潜氏が永眠されてゐる墓がある。

この赤色廣場では、五月一日のメーデーと十月の革命記念日には盛大な國家的行事が行はれる。此の日は夜となく晝となく市民は、盛大な行事へ参加して騒ぎ廻り、又夜は電氣花火を打上げ、無數のサーチライトがモスコーの夜空を照し續ける賑やかな一夜が送られるのである。斯うした戰勝國ソ連の行事を見せつけられて來た私達俘虜は『一日も早く歸りたい』といふ俘虜としての現實から抜けきれず、面白かつたといふ日は一日だつてなかつた。俘虜である私には、日曜日以外に仕事が終わる位な喜びしか持ち合せがなかつたのは事實である。

『荒城の月歌ひモスコーの夜は更けて』といふ川柳の一句ではないが、異國の丘に立つて祖國を想ふ淋しい影は『歸りたいな』ともらす溜息であり、満月の夜ともなれば、阿倍仲磨呂が三笠の山を想つて唱つた歌がしみじみと思ひ出され、全く感傷的な郷愁が胸にこみあがつて、幾度男泣きに泣き明かした事か。

今度で四度目の冬を迎へ、そして春を迎へた在ソ同胞50萬人の心憶も、きつと私と同じ氣持であると信じる。そして『今年こそ歸りたい』と念願してシベリヤの嵐に挑んで働いてゐることだらう。『今年こそ歸して下さい』と引揚促進大會で留守家族は泣いてゐる。終戰以來もう歸るかも歸るか留守家族は齒を喰ひしばつて、このインフレの荒波を耐へて4年目の春を迎へているのである。

『今年こそきつと歸せ』と叫ぶのは復員者全部の聲であり、國民の聲である。今やシベリヤ引揚再開の時が間近に迫つて來た。引揚船の準備も出來てゐる。今年こそ50萬の在ソ同胞が一人も残らず歸れる様、絶大なる引揚促進の爲の聲援を送ると同時に、歸還を遅らすものは誰かといふことを注視しようではないか。

その四

“異國の友情” それは決してソ連人との友情ではない。同じ俘虜で同じ二重の鐵條網の中で明けくれ暮したドイツ人、オーストリア人、ルーマニヤ人、ポーランド人、チェツコスロバキヤ人とでもない。その友情は同じ東洋民族であるハンガリー人との友情なのである。

私達日本人がうらぶれた姿でモスコーから40軒離れたクラスノゴルスク國際收容所に25日間のシベリヤ鐵道の旅を終へて來たとき、先づ私達を心から温い氣持で迎へてくれたのはハンガリー人であり、煙草をめぐんでくれたのもハンガリー人だつたのである。ハンガリー人は例の成吉思汗の歐洲遠征の際歐洲に残つた蒙古族で、その多くは歐洲人と混血してゐるが、混血しない髪の毛の黒い日本人の容貌によく似てゐる者が多かつた。

彼等の踊る民族ダンスは、踊り方に服裝に東洋的な親しみをもつて興味深く見る事ができた。

扱て私の“異國の友情”は、私が國際收容所に入つて天幕生活をやり乍ら厩舎の設營に取掛つたとき、收容所の營繕係の長をしてゐた建築技師キ

ツシュ・グスロー氏（ハンガリー人）が、材料や道具の世話を面倒見てくれたことから始まり、之が彼との初対面だったのである。キツシュ氏は軍人として俘虜になつたのではなく、ベルシヤで獨軍に徴用され軍事施設工事の監督に従事しているとき、ソ連軍に俘虜となり、吾々が收容所に來たときは既に4年間もこの收容所にゐるのである。彼は50才になつてゐるのだが未だ獨身で、これまで一度も結婚していないそうで、年より若く見えて無口な温厚な紳士である。彼は散歩が好きで、日に一回は必ず塙舎を見て廻り、何かと技術的な指導の援助をしてくれた。

私からの種々な設備に對する日本人側の要求には少しも嫌な顔もせず、材料入手の承認を與へてくれ、材料の入手に卒先して面倒を見てくれた。彼との交際はまる2年間、彼が收容所を去る迄續けられた。

彼等ハンガリー人達は音楽會や御茶の會をよくやるのだが、きつと私達を招待してくれ、ハンガリーの國民歌謡を歌ひ合つた追憶は今でも忘れられない。作業に對する日本人の忠實さをよく知つて、ソ軍からの急ぐ仕事を是非日本人でやつて欲しいと依頼して來た。吾々も又一生懸命になつて彼の吾々日本人に對する信頼を傷つけず働いてやつた。

キツシュ氏が6年振りに歸國が許されたときはさすがに嬉しそうだつた。吾々が彼等ハンガリー人の乗つてゆく貨車の設備をやつたときなどとても喜んでくれた。ハンガリー語を知らない私は、不自由なロシア語とドイツ語とで話しあつたが、どうにか御互の意志は通しあつた。

彼との名残は盡きなかつた。

私は俘虜になつて2年間、日本への通信も許されず、終戦以來行方不明の儘でゐることをフト思ひ出した。そしていつ歸れるか解らない祖國日本へ私が元気で生きていることを知らせたらと大それた考へが“若し『ブタベスト』から便りが出せたら頼む”と私の住所を大急ぎで書き記した紙片

を歩哨の見て居ない間にそつと手渡したのである。その便りが歐洲の一角から、而も鐵のカーテンの中から、日本へ果して出せるかどうかをあやふみつゝ……だが彼の友情は私との約束を確實に果たしてくれた。私がたくした住所の紙片は途中で引上げられたと見えて（國境通過の際嚴重に身体検査があり、文字を書いたものは一切持つて行けない）私の住所宛でなく、彼の友人とエスペラント語で20年の永い間文通してゐる大阪市民生局調査課長池川清氏のもとに、友人を介して私の消息を昨年の5月にわずか25語の制限葉書がとゞけられ『何かの方法で彼が元気でゐることを家族に知らせて欲しい』との依頼狀が舞こんだのである。池川氏は大阪府廳に勤務してゐる私を知る由もなく『鐵のカーテンの中のハンガリーの消息』と題して、他の通信と共に大阪新聞と毎日新聞とに掲載して貰つて、私の消息を知らせてくれたのであるが、それが幸運にも妻の眼にとまり妻や父母は『私の生きていること、そしてモスコウの收容所にいること』を知つて安堵の胸をおろしたのであつた。

明年の11月幸運にも歸國出來た私はこの事を知つて『異國の友情』は國境を越えて固く結ばれる事、そして口約束を完全に果たしてくれたハンガリー人の友情をどんなに有難かつたかわからない“キツシュさん有難う”と心から叫ばすにはおれない私は、鐵のカーテンの中にいる、キツシュ・グスロー氏の幸福を祈りつゝ、民主日本再建の一翼として技術者の任務を充分に果すことを誓つて私の拙い俘虜生活の感傷を終る次第である。

（1949.2.8）（筆者・大阪府建築部技師）

山口縣建築部構成

建築部長	今津重藏
建築課長	大枝千秋
住宅・營繕課長	岩崎文雄

會 務 報 告

理 事 會

(24年度第一回) 4.14 於兒島分室 竹腰會長外28名出席開會前故岩尾理事に對し默禱を捧げた後

1. 理事會申合せの件。時間勵行出席、定員、議事録、決議事項等
2. 定例日の件。毎月八日二時とすること。
3. 理事會務分掌の件。別項の通り互選。
4. 委員委嘱の件。主記一任した。
5. 春季大會並支部長會開催の件。別項委員會を設け進行すること。
6. 資料要覽發行の件。載中委員より説明出版の事承認
7. 昭和23年度収支決算、並建築便覽決算の件。大和書記長より別表説明承認。
8. 理事會申議の件。23年度理事代表として載中舊理事より別記の通り説明あり新舊引繼を了した。
9. 常務理事の件。現理事中澤誠一郎君辭任申出あり之を承認尙大和書記長を後任に選任する事を決議した

工事請負規程改正委員會 東京に於て四會連合で四月四日より三日間開催載中委員上京。

編集委員會 四月七日 朝日ビル二十七日分室で開催本年度計畫其他協議した。

資料要覽刊行委員會

四月十二日、十九日、二十六日開催準備に着手した。

春季大會委員會

四月十一日、二十五日朝日ビルにて開催準備に着手。

兵 庫 支 部

四月八日 松浦工務店役員會開催、本部より中澤理事大和書記長列席豫算、六月號雜誌記事引受、預りの建築便覽解決。故岩尾副支部長追悼會。住宅金庫、集金問題等の件を協議した。

四月二十日 岩尾邸雲漢莊で幹事出席故人追悼會開催した。五月二日、六日 編集委員會開催原稿作成した

東 海 支 部

四月九日 支部事務所で役員會開催本部より載中委員大和書記長列席、二號會員獲得、集金事業、不燃都市

住宅金庫、雜誌支部編集、便覽始末、請負規程問題等を協議した。

京 都 支 部

四月二十三日 支部所在で役員會開催、本部大和書記長列席、事業方針、京都博見學、雜誌編集引受け。集金、會勢發展、交附金、便覽解決、住宅金庫、誌上斡旋問題等々議した。五月七日 同所で再會、八月號雜誌編集と廣告の件再協議委員分擔着行、六月十二日宇治方面見學の事を議した。

和歌山會勢委員會

四月二十一日 正午井上副會長、中澤理事、大和書記長出席、委員會開催、委員長後任として縣建築課長奥村胖氏を選任、會勢擴張、集金其他事務協議、二時から土建組合にて縣土木部長神尾守次氏外市内關係方面約三十余名集合、井上副會長より不燃都市及中澤理事住宅金庫促進問題、日本不燃住宅普及會山東監事等出席講演會開催夫々質疑應答した。

大阪會勢委員會

四月二十六日 會館分室 委員長副委員長互選、本年度事業方針、定例日、申合事項其他協議。五月は春季大會と共同事業としたが五月三日京都支部と合同で京都博覽會並鴨川跡を見學した。

編 輯 後 記

23度編集委員會企畫による最後の號として第五號を御送りします。

本號も座談會を主として計畫してゐたので前號と重複したが、最近この設備面の事は進駐軍が來てから、特に喧ましく言はれ、一般に認識啓蒙もされて來たので、その方面の専門の方々にお集り願ひ、夫々今後の業界の進むべき道、實務により經驗された事等興味ある有意義なものである。この意味に於て本號も座談會を掲載した事を諒とされたい。

次號六號よりは24度新委員により、清新激刺と期待に副ふ可く計畫をなし、その最初の企畫として支部の要望に應へ、次號を兵庫支部特集號として記事を集録し印刷準備にとりかゝつてゐる。

23年度編集に當つて各位より多大の御援助を得ました事を謝する次第である。(編集子)

管 業 種 目

銅製サツシユ・ドア・シャッター
オペレーター・伸縮戸・面格子・建築金物一式
製作 及 修 理 工 事

日 本 サ ツ シ ュ 株 式 會 社

舊名 日本サツシユ合資會社大阪出張所

大阪市 東區 高麗橋 二丁目九番地

電話土佐堀④2995・3979

神戸營業所 神戸市 葺合區 琴緒町三丁目八番地

電話元町④5445

建 築 と 社 會

第 30 輯 第 5 號

實價1部金40圓(送料共)

昭和24年5月20日印刷・昭和24年5月25日發行

編集發行人 戸 川 弘

發 行 所 社 團 日 本 建 築 協 會
法 人

大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 { 土佐堀 ④1836・3631番

北 濱 ④1334 ~ 9 番

振 替 口 座 大 阪 39975 番

大 阪 市 東 區 北 濱 三 丁 目 七

印 刷 人 井 上 聖

大 阪 市 東 區 北 濱 三 丁 目 七

印 刷 所 兒 島 印 刷 株 式 會 社

(昭和二十四年度)

理事會

小 川 正

同

兵庫支部

廣島支部

九州支部

同

支 部 役 員

東海支那

同副支部

同

京都支部

同副支部

同

兵庫支部

同副支前

同

廣島支所

同副支前
同

4. III-1-32

九州文庫
同題古書

同

◎各委員會委員並に各支部幹事は
次號に掲載の豫定

●第三〇集 第五号 掲載広告一覧（掲載順）

尾崎工務店
日東工務店
浦野組
飯田組
吉原組
大阪電気商会
大阪暖房商会
大阪城口研究所
桐田商会
斎藤久孝
須賀工業
西原衛生工業所
建材社
榎山工業
大和工業
三晃商会
山田工業
保坂工業所
鼎直一商店
関城化学工業所
内外アスベスト
明正社

報国工業
安岡保温工業
大阪パッキング製造所
日本不燃板工業
興亜建材工業所
日本断熱工業
豊国瓦建材
ナニワ瓦
④タイル営業所
三幸商会
和泉石灰建材
灰政商店
堂島青写真工業所
鈴木工務所
三高製作所
満点製作所
中川ラス製作所
日本ラス工業
ライトラバー興業
鈴木シャッタア
下村工務店
大阪建材工業

矢橋大理石商店
木下謹三商店
勢山竹材店
濱田竹材店
亀井
天王寺木工
浪花工房
井田商店
辰己吉商店
山源商店
大阪セメント瓦
日新建材
岩元工業
西林石材工業
ベニヤ商会
東洋陶器
東洋瓦産業
奥村重兵衛商店
河津裝飾
山本窯業
竹林塗装工業
玉置孝太郎商店
やよいスレート
大阪城口研究所

日垣本社
村田硝子店
日建興業
日新工業
大阪田島応用化工
久保商店
協和建材工業
共栄瀝青工業
山本建材社